

83-451



1200501327897

451

主要裏作蔬菜栽培試驗成績



始





昭和四年七月

主要裏作蔬菜栽培試驗成績

京都府立農事試驗場











第三、播種量試験	三三
第四、播種期試験	三四
第五、種子熟度ニ關スル試験	三五
第六、苗ノ大小比較試験	三六
第七、苗ノ切斷試験	三九
第八、苗葉鞘部長短比較試験	四〇
第九、硫黄効果試験	四一
第十、除土ニ關スル試験	四三
第十一、捻曲ニ關スル試験	四四

### 三、豌豆

第一、品種試験	四七
第二、品種特性調査	四八

### 四、馬鈴薯

第一、品種試験	五五
第二、品種特性調査	五九
第三、種薯切斷試験	六〇
第四、種薯催芽試験	六一
第五、種薯種類試験	六四
第六、剪枝法試験	六五
第七、採收時期試験	六七

### 五、菜豆

第一、品種試験	六九
第二、品種特性調査	七六

以上

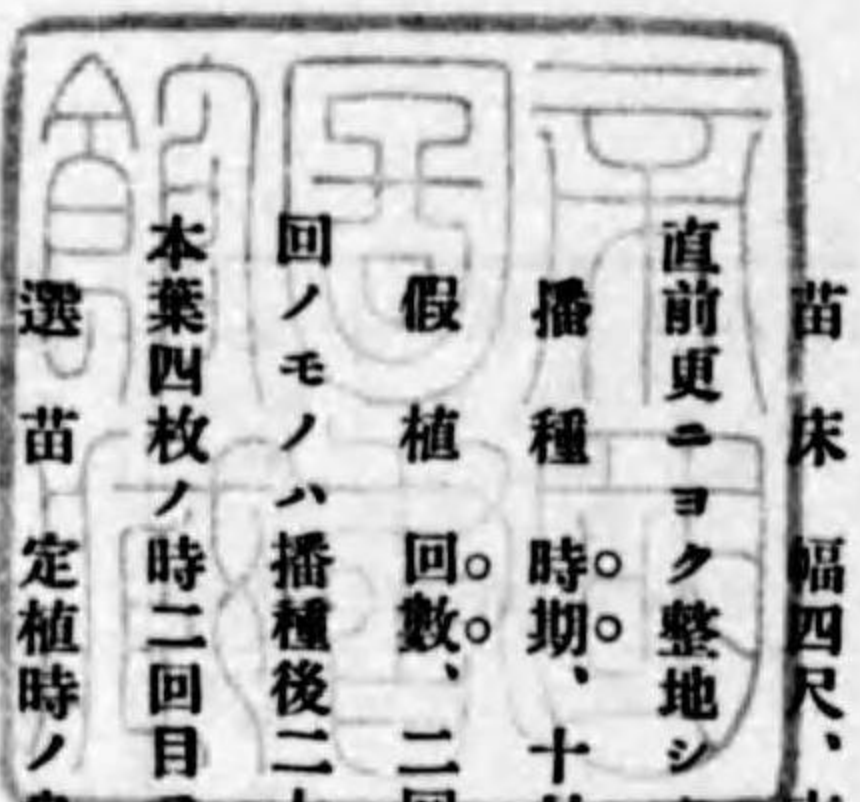


# 主要裏作蔬菜栽培試験成績

京都府立農事試験場山城園藝場

## 一、甘 藍

### 耕種概要



苗床 幅四尺、東西畦、肥料ハ播種約二十日以前ニ坪當リ油粕一五〇匁、糞灰一〇〇匁、過燐酸石灰四五匁、播種直前更ニヨク整地シタル後ハ糞尿約五、六升ヲ施用ス。

播種 時期、十月上旬。方法、二寸距離。條播。

假植 回数、二回又ハ一回。方法、一回ノモノハ播種後三十日内外ヲ經、本葉二、三枚ノ時方三寸五分距離ニ、二回ノモノハ播種後二十日乃至二十五日ヲ經、本葉一、二枚ノ時一回目ヲ方二寸距離ニ、後更ニ二十五日乃至三十日ヲ經本葉四枚ノ時二回目ヲ苗ノ大小ニヨリ方三寸乃至四寸距離ニ假植ス。

選苗 定植時ノ良苗特徴次ノ如シ。

- 一、莖葉充實シ節間長カラザルモノ。
- 二、葉柄ノ長カラザルモノ。(晩生種ヲ除ク)
- 三、葉ニ深キ缺刻ヲ有セザルモノ。
- 四、腋芽ヲ發生セザルモノ。
- 五、葉ノ開張性大ナラザルモノ。



- 六、大、小度ヲ失セザルモノ。
  - 七、莖葉ノ紫赤色ヲ帶バザルモノ。(赤色種ヲ除ク)
  - 八、鬚根ノ發達宜シク、強健ナルモノ。
  - 九、病虫害ノ被害ナキモノ。
- 定植時期、十二月下旬。栽植距離、畦巾、二尺八。株間、一尺七五。
- 施肥量 一反歩當左ノ如シ。

肥料名	總施用量	元肥	追肥	三要素			備考
				窒素	磷酸	加里	
堆肥	100	100	100	1.75	0.60	1.00	四—五圓ニ分施ス
油粕	100	100	100	1.75	0.60	1.00	
過磷酸石灰	100	100	100	1.75	0.60	1.00	
木灰	100	100	100	1.75	0.60	1.00	
人糞	100	100	100	1.75	0.60	1.00	
合計	500	500	500	8.75	3.00	5.00	

管理 早春乾燥セバ屢々稀薄ナル人糞尿ヲ施與ス。除草、中耕、補肥、害虫驅除ニツトム。

### 第一、品種試驗

目的 主トシテ各種ノ早生甘藍ヲ蒐集栽培シ乾田冬作トシテ、早生種ニシテ、結球率九五%以上、一球平均三五〇  
 匁以上、反收八〇〇匁以上ノ優良品種ヲ選擇セントス。  
 供試品種及種子購入先

品種名	購入先
サットンズアブリル	英國、サットン商會
サットンズフエボリツト	同 上
サットンズアリーニエスト	同 上
ペビーヘッド	横濱市中村町、横濱植木株式会社
アリーゼルシューエークファイルド	同 上
オールヘッドアリー	京都市梅小路通猪熊東入、瀧井種苗株式会社
キンゲ	同 上
上鳥羽	同 上
早生三池	同 上
極早生丸形	同 上
野崎早生	名古屋市南区大塚町、野崎採種場
中野早生	東京府南葛飾郡奥戸村、中野庫太郎
豊田早生	静岡県安倍郡豊田村、石井次郎
西尾早生	京都府綴喜郡三山木村、西尾健太郎
アリースプリング	東京府高田町日白、ヤマト種苗農具株式会社
アリーボール	同 上
ヤマト早生平球	同 上
アリークローツ	英國、ヘンダーソン商會
アリーマーケット	同 上
サダヤニ號	大分縣高田町、九州農園
大阪甘藍	大阪府立園藝學校
富場早生	富場採種

栽培摘要 各年ニ於ケル播種及栽植ノ月日次ノ如シ。







野崎早生	中野早生	豊田早生	西尾早生	キンダ	アリスブリング
大正十四年 昭和十五年 昭和二十年 平均	大正十五年 昭和二十年 昭和二十五年 平均	大正十四年 昭和十五年 昭和二十年 平均	大正十四年 昭和十五年 昭和二十年 平均	大正十五年 昭和二十年 昭和二十五年 平均	大正十五年 昭和二十年 昭和二十五年 平均
六、一六六 五、五六一 五、三六六 五、二七二 平均	五、三二一 五、二一六 五、一六二 五、一〇八 平均	六、一六六 五、五六一 五、三六六 五、二七二 平均	六、一六六 五、五六一 五、三六六 五、二七二 平均	六、一六六 五、五六一 五、三六六 五、二七二 平均	六、一六六 五、五六一 五、三六六 五、二七二 平均
六、一〇	六、一〇	六、一〇	六、一〇	六、一〇	六、一〇
二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇
四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

三品種ハ全部抽選ナ見タリ  
(昭和元年及ビ)

サダヤニ	大阪甘藍	上鳥羽	早生三池	極早生丸形	ヤマト早生平球	富場早生
大正十五年 昭和二十年 昭和二十五年 平均	大正十五年 昭和二十年 昭和二十五年 平均	大正十五年 昭和二十年 昭和二十五年 平均	大正十五年 昭和二十年 昭和二十五年 平均	大正十五年 昭和二十年 昭和二十五年 平均	大正十五年 昭和二十年 昭和二十五年 平均	大正十五年 昭和二十年 昭和二十五年 平均
六、一六六 五、五六一 五、三六六 五、二七二 平均	六、一六六 五、五六一 五、三六六 五、二七二 平均	六、一六六 五、五六一 五、三六六 五、二七二 平均	六、一六六 五、五六一 五、三六六 五、二七二 平均	六、一六六 五、五六一 五、三六六 五、二七二 平均	六、一六六 五、五六一 五、三六六 五、二七二 平均	六、一六六 五、五六一 五、三六六 五、二七二 平均
六、一〇	六、一〇	六、一〇	六、一〇	六、一〇	六、一〇	六、一〇
二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇
四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

摘要  
(イ)反當收量八〇〇貫以上ニ達スルモノ



オールヘッドアーリー、當場早生、西尾早生、サダヤ二號、中野早生、野崎早生(以下順位)  
 (ロ)球ノ平均重量三五〇匁以上ノモノ

野崎早生、當場早生、西尾早生、サダヤ二號、中野早生、オールヘッドアーリー、アーリースプリング、ヤマト早生平  
 球、豊田早生

(ハ)採收歩合九五%以上ニ達スルモノ

中野早生、豊田早生、西尾早生、キング、アーリーゼルシューエークフィールド、上鳥羽、當場早生、サダヤ二號、ア  
 ーリースプリング、早生三池、ベビーヘッド、サットンスアブリル

(ニ)採收時期ノ最モ早キモノ

サットンスアブリル、サットンスアブリル、サットンスアブリル

要之乾田ノ多作用品種ハ早生種ニシテ、結球確實、收量多キコトヲ要ス、サレバ上表ノ成績ニ據リ優良品種ト認ムベキ  
 ハ、中野早生、西尾早生、當場早生、サダヤ二號、オールヘッドアーリー、豊田早生等ニシテ、野崎早生ハ良球ヲ得ベ  
 キモ本試験下種期ノモノハ採收歩合少シ、又中野早生、西尾早生ハ結球期ノ天候ニヨリ裂球ヲ出スコト多キハ欠點ト言  
 フベシ。

第二、品種特性調査

主要品種ニ就テ調査シタル特性ヲ表記スベシ。

品種名	外		葉		球		備考
	葉數	形狀	葉白粉	莖高	形狀	採收期	
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	量三五〇匁以上ヲ
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	大トシ三五〇匁以
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	上三五〇匁ヲ中ト
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	シ三五〇匁以下ヲ
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	小トス
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	收量ハ反當八〇〇
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	實以上ヲ多トシ七
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	〇〇匁以上ヲ中ト
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	シ七〇〇匁以下ヲ
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	少トス

品種名	葉數	形狀	葉白粉	莖高	形狀	採收期	備考
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	量三五〇匁以上ヲ
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	大トシ三五〇匁以
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	上三五〇匁ヲ中ト
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	シ三五〇匁以下ヲ
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	小トス
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	收量ハ反當八〇〇
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	實以上ヲ多トシ七
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	〇〇匁以上ヲ中ト
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	シ七〇〇匁以下ヲ
サットンスアブリル	多	卵圓	多	低	短圓錐	甚早	少トス

第三、播種時期試験

目的 播種ノ時期ガ其ノ生育並ニ收量ニ及ボス影響ヲ知ラントス。

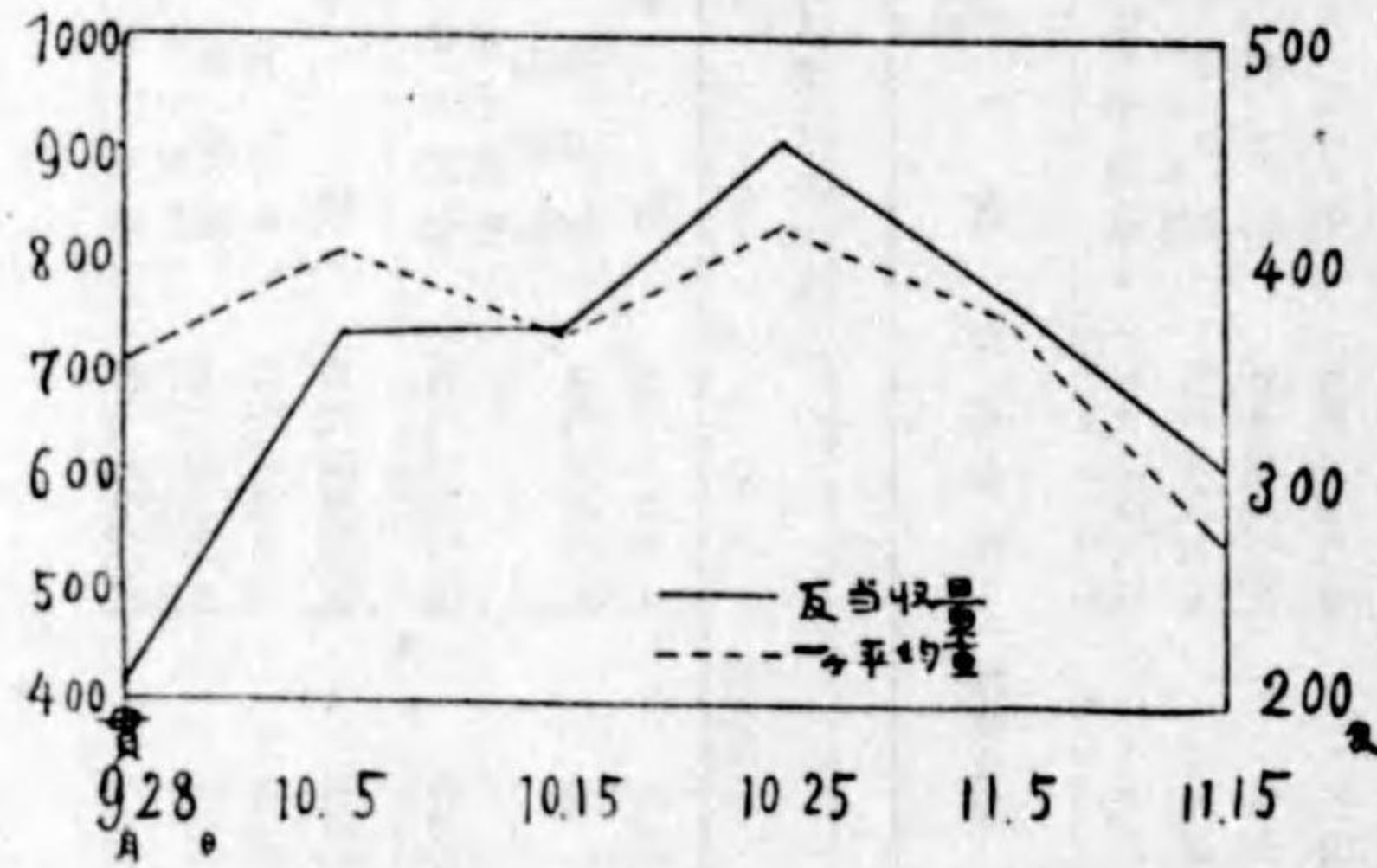
供試品種 各年共左記三品種。

播種時期 左表ノ六期ニ播種ス。

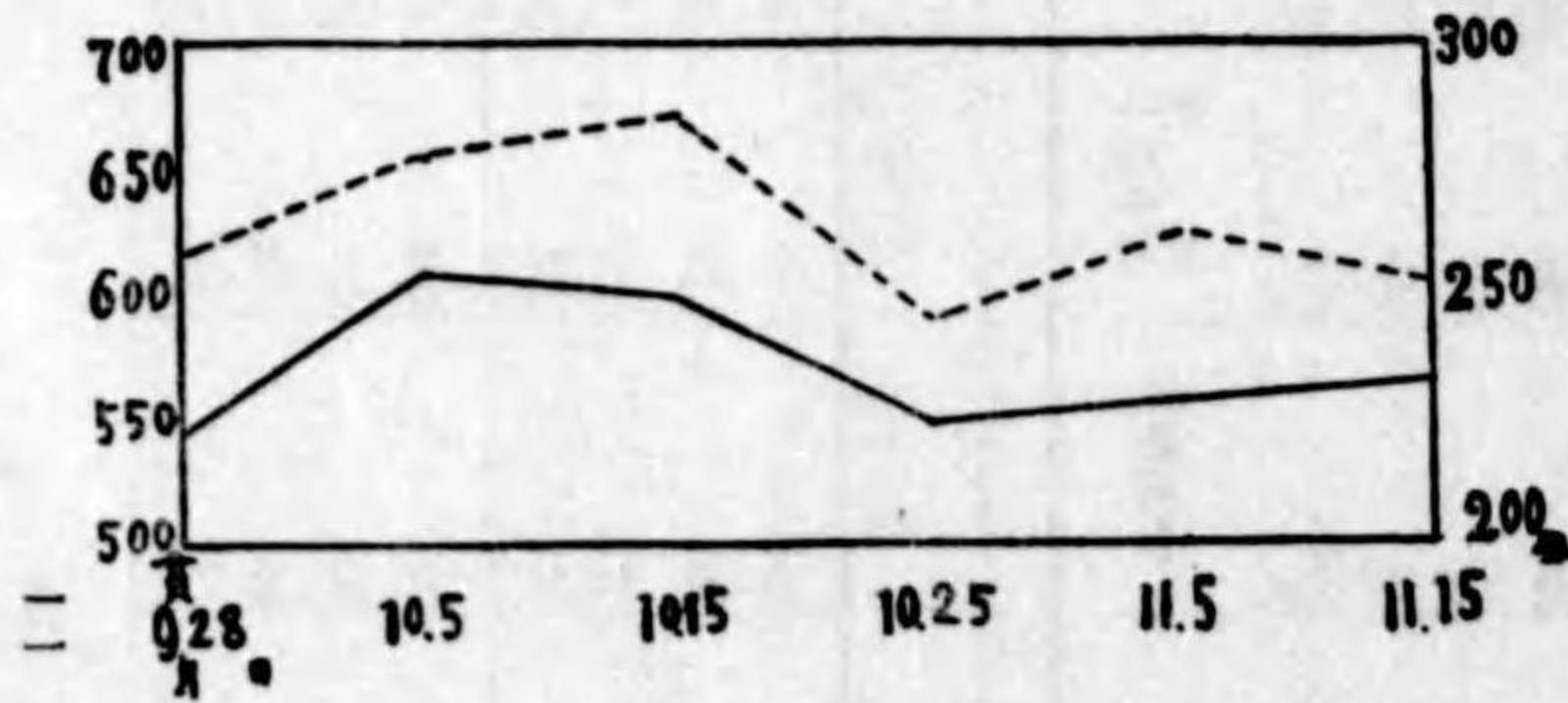
栽培摘要



野崎早生播種期試験成績



アリエスト播種期試験成績



播種期	年	採收期間	採收盛期	個數	反當収量	重	平均	採歩合	備考
十月二十五日	大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均	自六、九至六、二四 自六、七至六、二四 自六、七至六、二四 自六、七至六、二四 平均	六、二四 六、二四 六、二四 六、二四 平均	二、〇〇〇 二、〇〇〇 二、〇〇〇 二、〇〇〇 平均	七六〇〇〇 七六〇〇〇 七六〇〇〇 七六〇〇〇 平均	二 二 二 二 平均	〇 〇 〇 〇 平均		
十月十五日	大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均	自六、九至六、二四 自六、七至六、二四 自六、七至六、二四 自六、七至六、二四 平均	六、二四 六、二四 六、二四 六、二四 平均	二、〇〇〇 二、〇〇〇 二、〇〇〇 二、〇〇〇 平均	七六〇〇〇 七六〇〇〇 七六〇〇〇 七六〇〇〇 平均	二 二 二 二 平均	〇 〇 〇 〇 平均		

(一)野崎早生 成績

播種期	年	採收期間	採收盛期	個數	反當収量	重	平均	採歩合	備考
九月二十八日	大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均	自六、九至六、二四 自六、七至六、二四 自六、七至六、二四 自六、七至六、二四 平均	六、二四 六、二四 六、二四 六、二四 平均	二、〇〇〇 二、〇〇〇 二、〇〇〇 二、〇〇〇 平均	七六〇〇〇 七六〇〇〇 七六〇〇〇 七六〇〇〇 平均	二 二 二 二 平均	〇 〇 〇 〇 平均		
十月五日	大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均	自六、九至六、二四 自六、七至六、二四 自六、七至六、二四 自六、七至六、二四 平均	六、二四 六、二四 六、二四 六、二四 平均	二、〇〇〇 二、〇〇〇 二、〇〇〇 二、〇〇〇 平均	七六〇〇〇 七六〇〇〇 七六〇〇〇 七六〇〇〇 平均	二 二 二 二 平均	〇 〇 〇 〇 平均		
十月十五日	大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均	自六、九至六、二四 自六、七至六、二四 自六、七至六、二四 自六、七至六、二四 平均	六、二四 六、二四 六、二四 六、二四 平均	二、〇〇〇 二、〇〇〇 二、〇〇〇 二、〇〇〇 平均	七六〇〇〇 七六〇〇〇 七六〇〇〇 七六〇〇〇 平均	二 二 二 二 平均	〇 〇 〇 〇 平均		
十月二十五日	大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均	自六、九至六、二四 自六、七至六、二四 自六、七至六、二四 自六、七至六、二四 平均	六、二四 六、二四 六、二四 六、二四 平均	二、〇〇〇 二、〇〇〇 二、〇〇〇 二、〇〇〇 平均	七六〇〇〇 七六〇〇〇 七六〇〇〇 七六〇〇〇 平均	二 二 二 二 平均	〇 〇 〇 〇 平均		
十一月五日	大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均	自六、九至六、二四 自六、七至六、二四 自六、七至六、二四 自六、七至六、二四 平均	六、二四 六、二四 六、二四 六、二四 平均	二、〇〇〇 二、〇〇〇 二、〇〇〇 二、〇〇〇 平均	七六〇〇〇 七六〇〇〇 七六〇〇〇 七六〇〇〇 平均	二 二 二 二 平均	〇 〇 〇 〇 平均		

播種期	供試品種名	假植回数	定植期	畦巾株間	供試品種名	假植回数	定植期	畦巾株間	供試品種名	假植回数	定植期	畦巾株間
九月二十八日	野崎早生	二	三、二二	二、二〇×二、二〇	野崎早生	二	三、二二	二、二〇×二、二〇	野崎早生	二	三、二二	二、二〇×二、二〇
十月五日	野崎早生	二	三、二二	二、二〇×二、二〇	野崎早生	二	三、二二	二、二〇×二、二〇	野崎早生	二	三、二二	二、二〇×二、二〇
十月十五日	野崎早生	二	三、二二	二、二〇×二、二〇	野崎早生	二	三、二二	二、二〇×二、二〇	野崎早生	二	三、二二	二、二〇×二、二〇
十月二十五日	野崎早生	二	三、二二	二、二〇×二、二〇	野崎早生	二	三、二二	二、二〇×二、二〇	野崎早生	二	三、二二	二、二〇×二、二〇
十一月五日	野崎早生	二	三、二二	二、二〇×二、二〇	野崎早生	二	三、二二	二、二〇×二、二〇	野崎早生	二	三、二二	二、二〇×二、二〇



播種期	年 度	採收期間	採收盛期	反當收量		重一個平均	採收歩合	備 考
				個 數	重 量			
十一月五日	大正十四年	自六、九至六、二〇	六、一	一、九〇	七三・〇〇	三三〇	七	
	昭和十五年	自六、九至六、二〇	六、一	一、九〇	七三・〇〇	三三〇	七	
	昭和二十年	自六、九至六、二〇	六、一	一、九〇	七三・〇〇	三三〇	七	
十一月十五日	大正十四年	自六、二〇至六、三〇	六、一	一、九〇	七三・〇〇	三三〇	七	
	昭和十五年	自六、二〇至六、三〇	六、一	一、九〇	七三・〇〇	三三〇	七	
	昭和二十年	自六、二〇至六、三〇	六、一	一、九〇	七三・〇〇	三三〇	七	

(二) サツトンスアーリーエスト

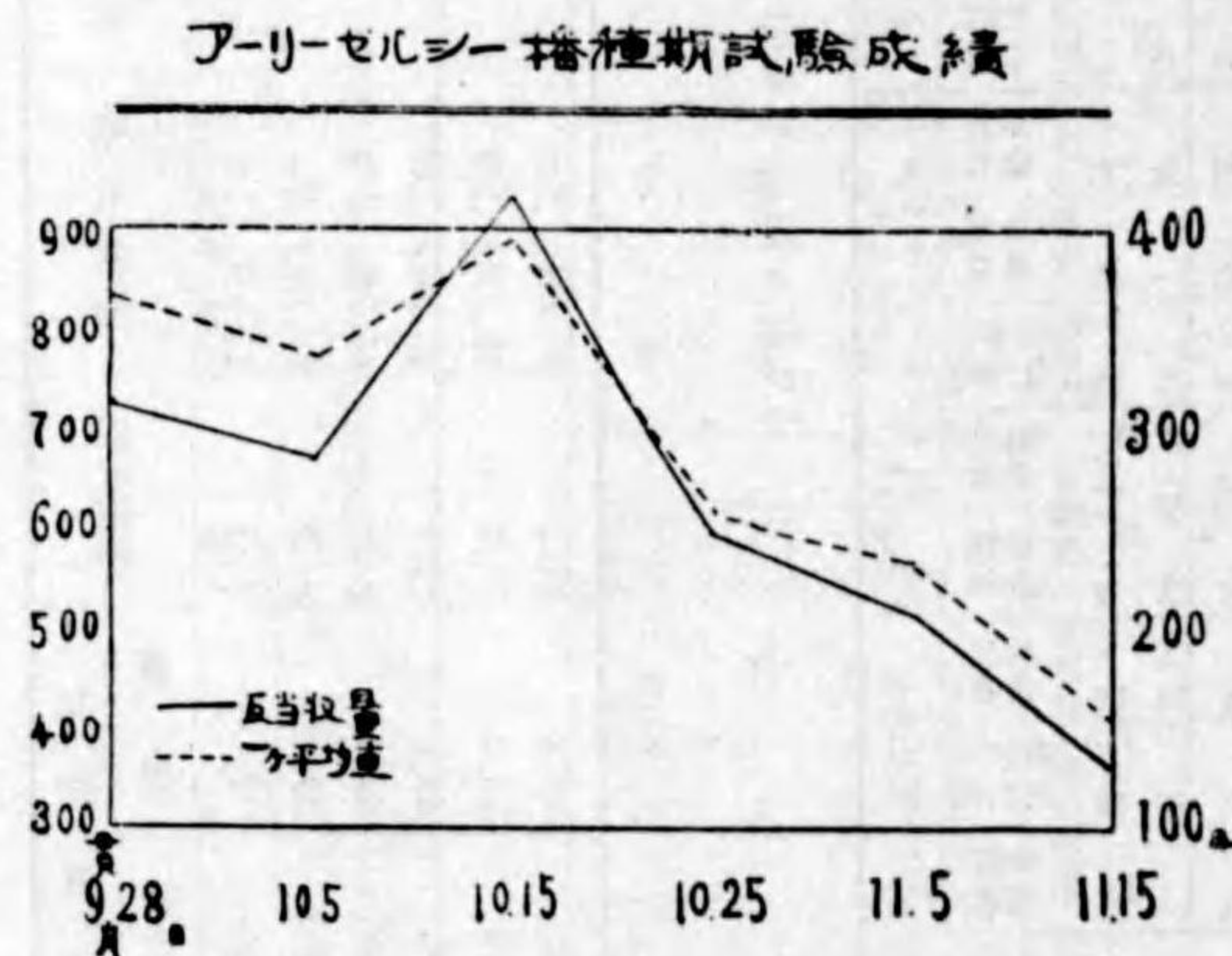
播種期	年 度	採收期間	採收盛期	反當收量		重一個平均	採收歩合	備 考
				個 數	重 量			
九月二十八日	大正十四年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、〇〇	五八・〇〇	二二五	八	
	昭和十五年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、〇〇	五八・〇〇	二二五	八	
	昭和二十年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、〇〇	五八・〇〇	二二五	八	
十月五日	大正十四年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、〇〇	五八・〇〇	二二五	八	
	昭和十五年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、〇〇	五八・〇〇	二二五	八	
	昭和二十年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、〇〇	五八・〇〇	二二五	八	
十月十五日	大正十四年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、〇〇	五八・〇〇	二二五	八	
	昭和十五年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、〇〇	五八・〇〇	二二五	八	
	昭和二十年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、〇〇	五八・〇〇	二二五	八	

播種期	年 度	採收期間	採收盛期	反當收量		重一個平均	採收歩合	備 考
				個 數	重 量			
十月二十五日	大正十四年	自六、一〇至六、二〇	六、一	二、四〇	七三・七〇	三二一	七	
	昭和十五年	自六、一〇至六、二〇	六、一	二、四〇	七三・七〇	三二一	七	
	昭和二十年	自六、一〇至六、二〇	六、一	二、四〇	七三・七〇	三二一	七	
十一月五日	大正十四年	自六、二〇至六、三〇	六、一	二、四〇	七三・七〇	三二一	七	
	昭和十五年	自六、二〇至六、三〇	六、一	二、四〇	七三・七〇	三二一	七	
	昭和二十年	自六、二〇至六、三〇	六、一	二、四〇	七三・七〇	三二一	七	
十一月十五日	大正十四年	自六、三〇至六、四〇	六、一	二、四〇	七三・七〇	三二一	七	
	昭和十五年	自六、三〇至六、四〇	六、一	二、四〇	七三・七〇	三二一	七	
	昭和二十年	自六、三〇至六、四〇	六、一	二、四〇	七三・七〇	三二一	七	

(三) 中野早生

播種期	年 度	採收期間	採收盛期	反當收量		重一個平均	採收歩合	備 考
				個 數	重 量			
九月二十八日	大正十五年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
	昭和二十年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
	昭和二十年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
十月五日	大正十五年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
	昭和二十年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
	昭和二十年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
十月十五日	大正十五年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
	昭和二十年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
	昭和二十年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
十月二十五日	大正十五年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
	昭和二十年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
	昭和二十年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
十一月五日	大正十五年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
	昭和二十年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
	昭和二十年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
十一月十五日	大正十五年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
	昭和二十年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	
	昭和二十年	自五、三〇至五、三〇	五、一	二、三〇	七三・〇〇	三二〇	七	



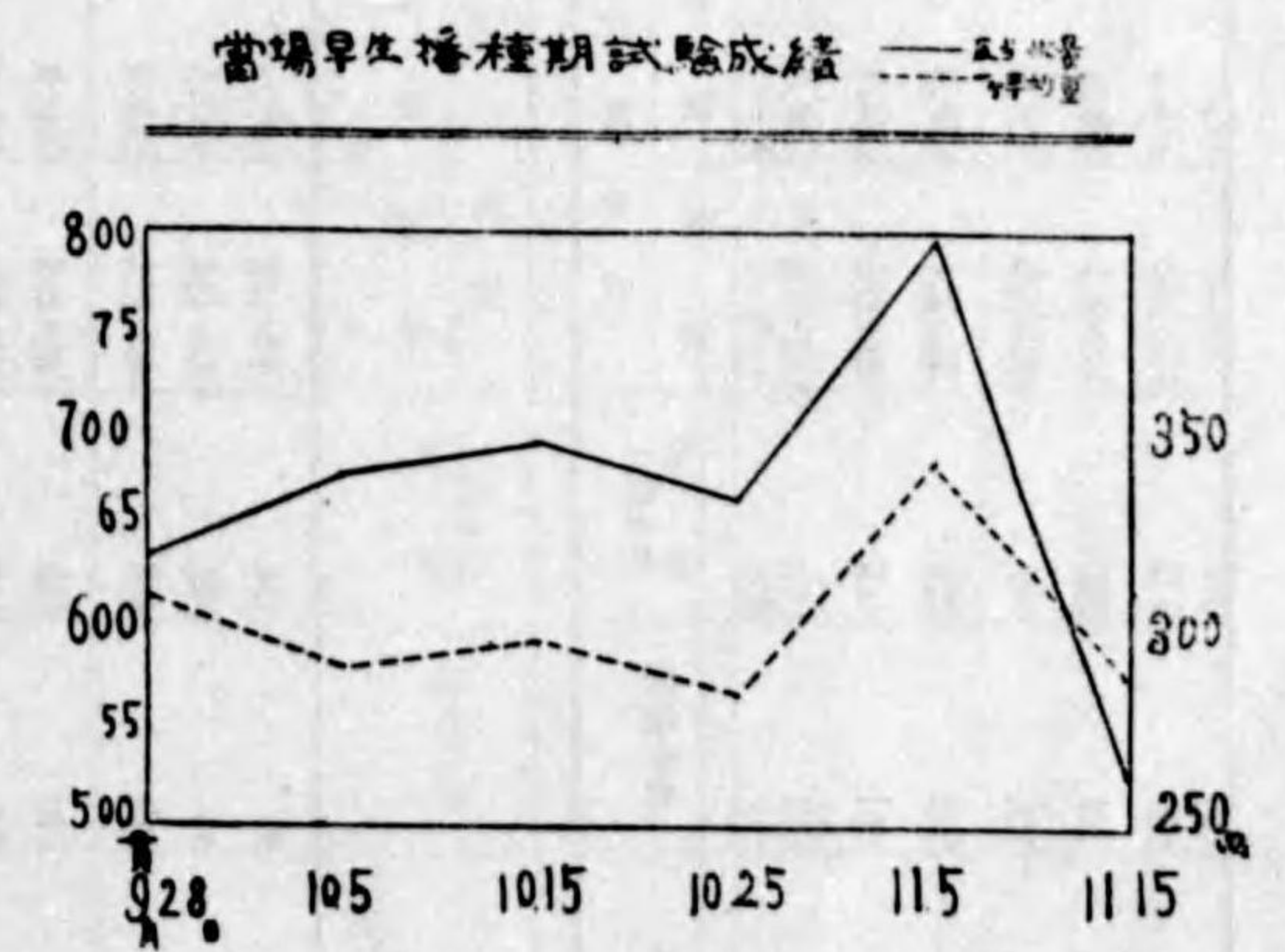
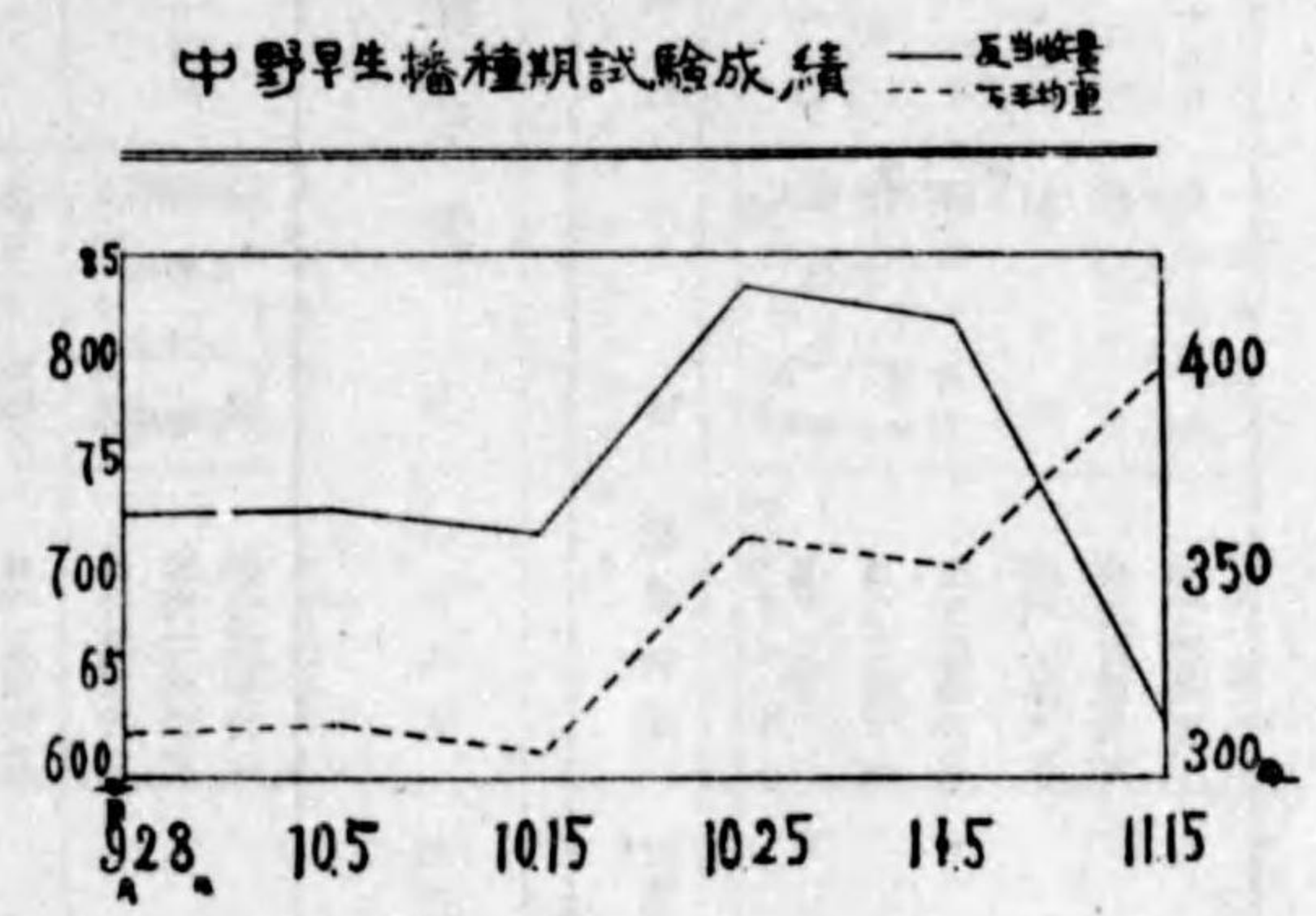


(五)ア-リ-セルシーウエークフィールド

十月十五日	同	自収、元至六三	六、六	二、〇〇〇	六、六	100
十月二十五日	同	自収、三至六三	六、〇	二、〇〇〇	六、六	100
十一月五日	同	自収、八至六三	六、〇	二、〇〇〇	六、六	100
十一月十五日	同	自収、一〇至七、一	六、一	二、〇〇〇	六、六	100

(四)當場早生

九月二十八日	昭和二年	探收期間 自収、元月、六日	探收盛期 六月三日	個數 二、〇〇〇	反當重量 二、〇〇〇	重一個平均 二、〇〇	探收歩合 100%	備考
十月五日	同	自収、元月、六日	六月三日	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇	100%	





播種期	年	度	採收期間	採收盛期	反當收量		採收歩合	備考
					個數	重量		
九月二十八日	大正十四年	同	自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
十月五日			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
十月十五日			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
十月二十五日			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
十一月五日			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
十一月十五日	同	同	自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	

摘要

(イ)上表ニヨリ成績順位ヲ示セバ次表ノ如シ。

播種期	年	度	採收期間	採收盛期	反當收量		採收歩合	備考
					個數	重量		
九月二十八日	大正十四年	同	自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
十月五日			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
十月十五日			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
十月二十五日			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
十一月五日			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
十一月十五日	同	同	自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	

(ロ)播種ノ適期ハ品種ニヨリテ各相異ス、概シテ早期ニ播種セルモノハ採收時期早キモ、球ノ比較的小形ナル事及ビ採收歩合ノ少キトニヨリ收量ハ少ナシ。

(ハ)播種期晚ケレバ結球歩合多ケレドモ採收時期晚レ且ツ球ハ小形ノモノ多ク收量少シ。

(ニ)以上ノ成績ニヨリ早生甘藍ノ播種期ハ大體十月上旬乃至下旬ノ候ヲ以テ適當ナリト認ム、而シテ品種ノ特性ニ應ジ抽臺少ナキ品種ハ早ク、多キ品種ハ晩ク播種スルヲ可トス。

第四、假植回数試験

目的 栽培上適當ナル假植回数ヲ驗知セントス。  
供試品種 野崎早生。  
假植回数 無、一、二、三回ノ四區。  
栽培摘要 左表ノ如シ。

假植回数	大正十四年		昭和十五年		昭和二十年		備考
	播種期	假植期	播種期	假植期	播種期	假植期	
無	10月25日	10月11日	10月25日	10月11日	10月25日	10月11日	假植セザルモノハ豫メ粗播シ尙適宜間引ヲ行フ
一回	同	同	同	同	同	同	
二回	同	同	同	同	同	同	
三回	同	同	同	同	同	同	
			畦巾株間	畦巾株間	畦巾株間	畦巾株間	
			2.73R×1.80	2.80R×1.67	2.80R×1.67	2.80R×1.67	

成績

假植回数	年	度	採收期間	採收盛期	反當重量		採收歩合	備考
					個數	重量		
無	大正十四年	同	自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
無	昭和十五年	同	自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	
			自六、一至六、七	六、七	一九八〇	七、六〇〇	八、八	



回数	一	二	三
平均	昭和二年 昭和五年 大正十四年	昭和二年 昭和五年 大正十四年	昭和二年 昭和五年 大正十四年
採收期間	自六、一五至六、一七 自五、二五至六、二〇 自五、二五至六、二〇	自五、二五至六、二〇 自五、二五至六、二〇 自五、二五至六、二〇	自五、二五至六、二〇 自五、二五至六、二〇 自五、二五至六、二〇
採收盛期	六、一〇	六、一〇	六、一〇
反當收量	1.100 1.120 1.120	1.020 1.020 1.020	1.070 1.070 1.070
一個平均	5.70 5.70 5.70	5.10 5.10 5.10	5.35 5.35 5.35
採收歩合	100 100 100	100 100 100	100 100 100
備考			

摘要

(イ) 收量ハ二回假植區、採收歩合ハ三回假植區、球ノ平均重量ハ無假植區最モ優ルヲ見ル。  
 (ロ) 採收初メハ三回假植區最モ晩ク、採收期間ハ無假植區最モ長クシテ不齊ナリ。  
 (ハ) 以上ノ成績ニ因レバ十月上旬播種セル場合ノ假植回数ハ二回ヲ以テ適當ト認ム。

第五、苗ノ大小比較試驗

目的 同一ノ播種管理上ニ於ケル苗ノ大小ガソノ收量ニ及ボス影響如何ヲ驗知セントス。

供試品種 大正十四年、アローゼルシウエークフィールド。大正十五年(昭和元年)、中野早生。昭和二年、當場早生。

苗ノ選別 大苗、中苗、小苗。

栽培摘要

苗ノ大サ	大正十四年	昭和二年	備考
大苗	品種名 播種期 定植期 畦巾株間 品種名 播種期 定植期 畦巾株間	品種名 播種期 定植期 畦巾株間 品種名 播種期 定植期 畦巾株間	
中苗	アローゼルシウエーク 同 同 同 同 同 同 同	同 同 同 同 同 同 同 同	
小苗	同 同 同 同 同 同 同 同	同 同 同 同 同 同 同 同	

成績

苗ノ大サ	年	度	採收期間	採收盛期	反當收量	一個平均	採收歩合	備考
大苗	大正十四年 昭和五年 昭和二年	平均	自六、一五至六、一七 自五、二五至六、二〇 自五、二五至六、二〇	六、一〇	1.100 1.120 1.120	5.70 5.70 5.70	100 100 100	
中苗	大正十四年 昭和五年 昭和二年	平均	自五、二五至六、二〇 自五、二五至六、二〇 自五、二五至六、二〇	六、一〇	1.020 1.020 1.020	5.10 5.10 5.10	100 100 100	
小苗	大正十四年 昭和五年 昭和二年	平均	自五、二五至六、二〇 自五、二五至六、二〇 自五、二五至六、二〇	六、一〇	1.070 1.070 1.070	5.35 5.35 5.35	100 100 100	







定植期	年 度	採收期間	採收盛期	反當收量		重一個平均	採收歩合	備 考
				個 數	重 量			
十二月下旬	大正十四年	自六、一五至六、二二	六、八	二、〇〇〇	二、七〇	二、七〇	一〇〇	
一月下旬		自六、一五至六、二二	六、六	二、〇〇〇	二、七〇	二、七〇	一〇〇	
二月下旬		自六、一五至六、二二	六、三	二、〇〇〇	二、七〇	二、七〇	一〇〇	
三月下旬		自六、一五至六、二二	六、三	二、〇〇〇	二、七〇	二、七〇	一〇〇	

(三)中野早生

定植期	年 度	採收期間	採收盛期	反當收量		重一個平均	採收歩合	備 考
				個 數	重 量			
十二月下旬	大正十五年	自五、三三至五、三三	五、三	二、〇〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一〇〇	
一月下旬		自五、三三至五、三三	五、一	二、〇〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一〇〇	
二月下旬		自六、一五至六、二〇	六、七	二、〇〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一〇〇	
三月下旬		自六、一五至六、二〇	六、二	二、〇〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一〇〇	

摘要

(イ)上表ニヨリ成績ノ順位ヲ示セバ次ノ如シ。

品 種 名	野 崎 早 生 (三ヶ年)				中 野 早 生 (一ヶ年)				備 考
	反當收量	均一球平均	採收時期	採收歩合	反當收量	均一球平均	採收時期	採收歩合	
十二月下旬	二	一	一	二	一	一	一	一	
一月下旬	三	二	二	三	二	二	二	二	
二月下旬	四	三	三	四	三	三	三	三	
三月下旬	一	二	二	一	四	二	二	一	

(ロ)野崎早生ハ三月下旬、アーリーゼルシウエークフィールドハ一月下旬、中野早生ハ十二月下旬定植ノモノ收量最モ多シ。

(ハ)採收時期ノ早晚ハ概シテ定植時期ニ比例ス。是ヲ以テ見ルニ甘藍ハ品種ニヨリ定植適期ヲ異ニシ一般ニ遅ク定植スルモ收量ニ影響スル所少ナキコトヲ知ル。

附

甘藍ハ佛國ノ原産ニシテ古來主ラ歐米諸國ニ於テ改良セラレタレドモ近時我國ニ於テモソノ需要著シク増加シ實ニ年中缺クベカラザル重要蔬菜ノ一ツタリソノ品種モ亦我國内ニ於テ改良セラレタル優良種近時相踵イデ現レ所謂西洋蔬菜タルノ名ハ今ヤソノ歴史ヲ物語ルニ過ギザルニ到レリ。

以上ノ成績ニヨリ乾田裏作トシテ早生甘藍ノ栽培法ハ從來唱ヘラレタル一般栽培法ニ比シ更ニ考慮ヲ要スル點少ナカラズ。

斯クテ一反歩當リ八百貫ノ收穫ヲ得ンカ今後生産ノ増加ニ伴ヒ幾分單價ノ下落ヲ見ムモ本府ニ於ケル稻田ノ冬作蔬菜トシテ意義深キモノト云フベシ。

勿論徒ラニ一戸當リノ作付面積ヲ増加シ爲ニ其ノ成績ヲ誤ルガ如キハ特ニ慎マザルベカラズ。要ハ土地ノ事情ト品種ノ特性ニ關シ本成績ヲ参照スベキナリ。

尙中、晚生品種ニヨル不斷生産ノ栽培方法ニ關シテハ他日改メテ成績ヲ報告スル所アルベシ。



## 二、葱 頭

### 耕種概要

苗床 甘藍ニ準ズ。  
 播種時期、九月下旬。方法、反當四合ノ種子ヲ十二坪ニ播種ス。  
 定植時期、十二月中下旬。  
 栽植距離

年 度	畦 幅	列 数	株 間	反當本数	備 考
大正十四年	三・〇尺	二	〇・五尺	一・二〇〇本	
大正十五年	三・三六尺	三	〇・五尺	一・二〇〇本	
昭和二年	同	同	同	同	

### 肥料 一反當施肥量左ノ如シ。

肥料名	總施用量	元 肥	追 肥	三 要 素			備 考
				窒 素	磷 酸	加 量	
堆肥	三三・〇〇〇	三三・〇〇〇	—	一・四五〇	〇・七〇〇	—	—
油 粕	一〇・〇〇〇	一〇・〇〇〇	—	一・一〇〇	〇・三〇〇	—	—
過磷酸石灰	七・〇〇〇	—	七・〇〇〇	—	一・〇〇〇	—	—
木 灰	一六・〇〇〇	—	—	一・四〇〇	〇・三〇〇	—	—
人 糞	三三・〇〇〇	—	—	一・三〇〇	〇・六〇〇	—	—
合 計	—	—	—	—	—	—	—

管理 四月中旬頃迄ニ二、三回中耕ヲ行フ、生育ノ如何ニヨリ五月下旬乃至六月上旬葉鞘部ヲ捻曲シテソノ生長ヲ抑制ス。

### 第一、品種試驗

目的 主要品種ヲ比較栽培シ以テ優良種ヲ驗知セントス。

供試品種及種子購入先

品 種 名	購 入 先
泉 州 黄	大阪府泉南郡田尻村 今井伊太郎
地 球 型 黄	京都 タキイ種苗株式会社
當 場 黄	黄葱頭ノ優良系ヲ當場ニテ採種シタルモノ
セラクタットアルサクレীগ	英國 サットン商會
サットンスエーワン	同 上
エーローダンバース	東京 ヤマト種苗農具株式会社
エーローグロブダンバース	同 上
ブライズテーカー	同 上



圖 種 品 頭 葱







(ニ)採收歩合 エーローダンバース、エーローグロブダンバース、泉州黄、當場黄、地球型黄、ブライズターカー、サットンスエーワン、サットンスアルサクレグ。  
 (ホ)早晩サットンスアルサクレグ、サットンスエーワン、ハ晩生ナリ。  
 以上ノ成績ニヨリ、當場黄、泉州黄ノ兩種ハ成績最モ良好ナルヲ知ル。

第二、定植時期試験

目的 定植時期ノ早晚ガ其ノ收量及形質ニ及ボス影響ヲ知ラントス。

供試品種 當場黄。

定植時期

- 一〇。 十二月 十一日、十六日、二十一日、二十六日、三十一日。
- 一。 一月 五日、十日、十五日、二十日、二十五日、三十日。
- 二。 二月 十五日。
- 三。 三月 十五日。

栽培摘要 各年度ニ於ケル播種及定植左ノ如シ。

定植期	大正十四年		大正十五年(昭和元年)		昭和二年		備考
	播種期	定植本数(苗ノ大サ)	播種期	定植本数(苗ノ大サ)	播種期	定植本数(苗ノ大サ)	
十二月十一日	九月一日	100本	九月一日	100本	九月一日	100本	
十二月十六日	九月六日	100本	九月六日	100本	九月六日	100本	
十二月二十一日	九月十一日	100本	九月十一日	100本	九月十一日	100本	
十二月二十六日	九月十六日	100本	九月十六日	100本	九月十六日	100本	

成績

定植期	年 度	採收期	個 数	重 量	大 球	小 及 割 球	重 一 個 平 均	最 大 球 重	採 收 歩 合	備 考
十二月三十一日	大正十五年	十二月三十一日	100	1.1	10	100	0.11	1.2	95	
一月五日	大正十五年	一月五日	100	1.1	10	100	0.11	1.2	95	
一月十日	大正十五年	一月十日	100	1.1	10	100	0.11	1.2	95	
一月十五日	大正十五年	一月十五日	100	1.1	10	100	0.11	1.2	95	
一月二十日	大正十五年	一月二十日	100	1.1	10	100	0.11	1.2	95	
一月二十五日	大正十五年	一月二十五日	100	1.1	10	100	0.11	1.2	95	
二月五日	大正十五年	二月五日	100	1.1	10	100	0.11	1.2	95	
二月十五日	大正十五年	二月十五日	100	1.1	10	100	0.11	1.2	95	
三月十五日	大正十五年	三月十五日	100	1.1	10	100	0.11	1.2	95	

定植期	年 度	採收期	個 数	重 量	大 球	小 及 割 球	重 一 個 平 均	最 大 球 重	採 收 歩 合	備 考
十二月十一日	大正十五年	十二月十一日	100	1.1	10	100	0.11	1.2	95	
十二月十六日	大正十五年	十二月十六日	100	1.1	10	100	0.11	1.2	95	
十二月二十一日	大正十五年	十二月二十一日	100	1.1	10	100	0.11	1.2	95	







項目	定植期		二月十五日		三月十五日		三月十五日	
	二月十五日	三月十五日	二月十五日	三月十五日	二月十五日	三月十五日	二月十五日	三月十五日
總收量	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一
大球收量	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一
一個平均重量	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一

(イ)成績ノ順位

摘要

(ロ)大體ニ於テ收量ハ定植時期ノ早晚竝ニ苗ノ大小ニ比例シテ増減スルヲ以テ或程度迄大苗ノ養成ニツトメ早植スルヲ可トスベシ、而シテ定植適期ハ十二月中旬乃至一月上旬ヲ適當ト認ム。

第三、播種量試験

目的 播種量ノ差異ガ收量ニ及ボス影響ヲ調査シテノ適量ヲ驗知セントス。

供試品種 當場黃。  
播種量  
第一區 種子一合ヲ三坪ノ苗床ニ撒播。  
第二區 種子一合ヲ二坪ノ苗床ニ撒播。  
第三區 種子一合ヲ一坪ノ苗床ニ撒播。  
栽培摘要

區別	大正十四年		大正十五年		昭和二年		備考
	播種期	定植本數(苗ノ大サ)	播種期	定植本數(苗ノ大サ)	播種期	定植本數(苗ノ大サ)	
一	九月廿三日	100	九月廿三日	100	三月廿三日	100	
二	同	同	同	同	同	同	
三	同	同	同	同	同	同	

成績

區名	年度	採收期	總重量		大球		小及割球		一個平均重量	最大球	抽莖歩合	結損歩合	備考
			個數	重量	個數	重量	個數	重量					
第一區	大正十四年	七月二日	1,110	1,110.000	110	1,110.000	100	1,110.000	1.00	110	0	0	
	大正十五年	七月二日	1,110	1,110.000	110	1,110.000	100	1,110.000	1.00	110	0	0	
	昭和二年	七月二日	1,110	1,110.000	110	1,110.000	100	1,110.000	1.00	110	0	0	
第二區	大正十四年	七月二日	1,110	1,110.000	110	1,110.000	100	1,110.000	1.00	110	0	0	
	大正十五年	七月二日	1,110	1,110.000	110	1,110.000	100	1,110.000	1.00	110	0	0	
	昭和二年	七月二日	1,110	1,110.000	110	1,110.000	100	1,110.000	1.00	110	0	0	
平均	平均	平均	1,110	1,110.000	110	1,110.000	100	1,110.000	1.00	110	0	0	







第一區 充實種子(完熟採種)  
第二區 不充實種子(若刈採種)

栽培摘要 本試験モ亦昭和二年ニ施行セリ。

區別	播種期	發芽期		定植期	反當栽培本數	苗ノ大サ	備考
		始	期				
第一區	九月三日	九月五日	九月八日	三月九日	一九〇〇本	八六・七	
第二區	同	九月六日	九月八日	同	同	同	

成績

區別	採收期	總收量			大球			小球			備考
		個數	重量	個數	重量	個數	重量	一個平均重量	最大球重量	採收歩合	
第一區	六月九日	一八七〇〇個	一、八六一〇〇g	一、七〇〇個	一、二九二〇〇g	一、九〇〇個	四八・〇〇〇g	三七・七g	一〇七g	九三・九%	
第二區	同	一七、〇〇〇個	一、七五五〇〇g	一、五〇〇個	一、一六〇〇〇g	一、七〇〇個	四八・〇〇〇g	三七・七g	一〇七g	八九・一%	

摘要 右一ヶ年ノ成績ニヨルニ

- (一)總收量、大球收量、採收歩合ハ充實區優リ不充實區劣ル。
- (二)一個平均重量ハ不充實區優リ充實區劣ル。
- (三)不充實種子ヲ用フルモ相當ノ成績ヲ舉グ得ルコトヲ驗知シタリ。

第六、苗ノ大小比較試驗

目的 同時ニ播種シタル苗ニシテソノ大小ガ生育及收量ニ及ボス影響如何ヲ驗知セントス。

供試品種 當場黃。

栽培摘要 各年ニ於ケル栽培及苗ノ區分左表ノ如シ。

區別	大正十四年			昭和十五年			昭和二十年		
	播種期	定植期	反當栽培本數	播種期	定植期	反當栽培本數	播種期	定植期	反當栽培本數
大苗	九月三日	二月七日	一、〇〇〇本	九月六日	二月六日	一、〇〇〇本	九月三日	二月九日	一、〇〇〇本
中苗	同	同	同	同	同	同	同	同	同
小苗	同	同	同	同	同	同	同	同	同
			苗ノ大サ			苗ノ大サ			苗ノ大サ
			百本ノ草丈			百本ノ草丈			百本ノ草丈
			太サ			太サ			太サ

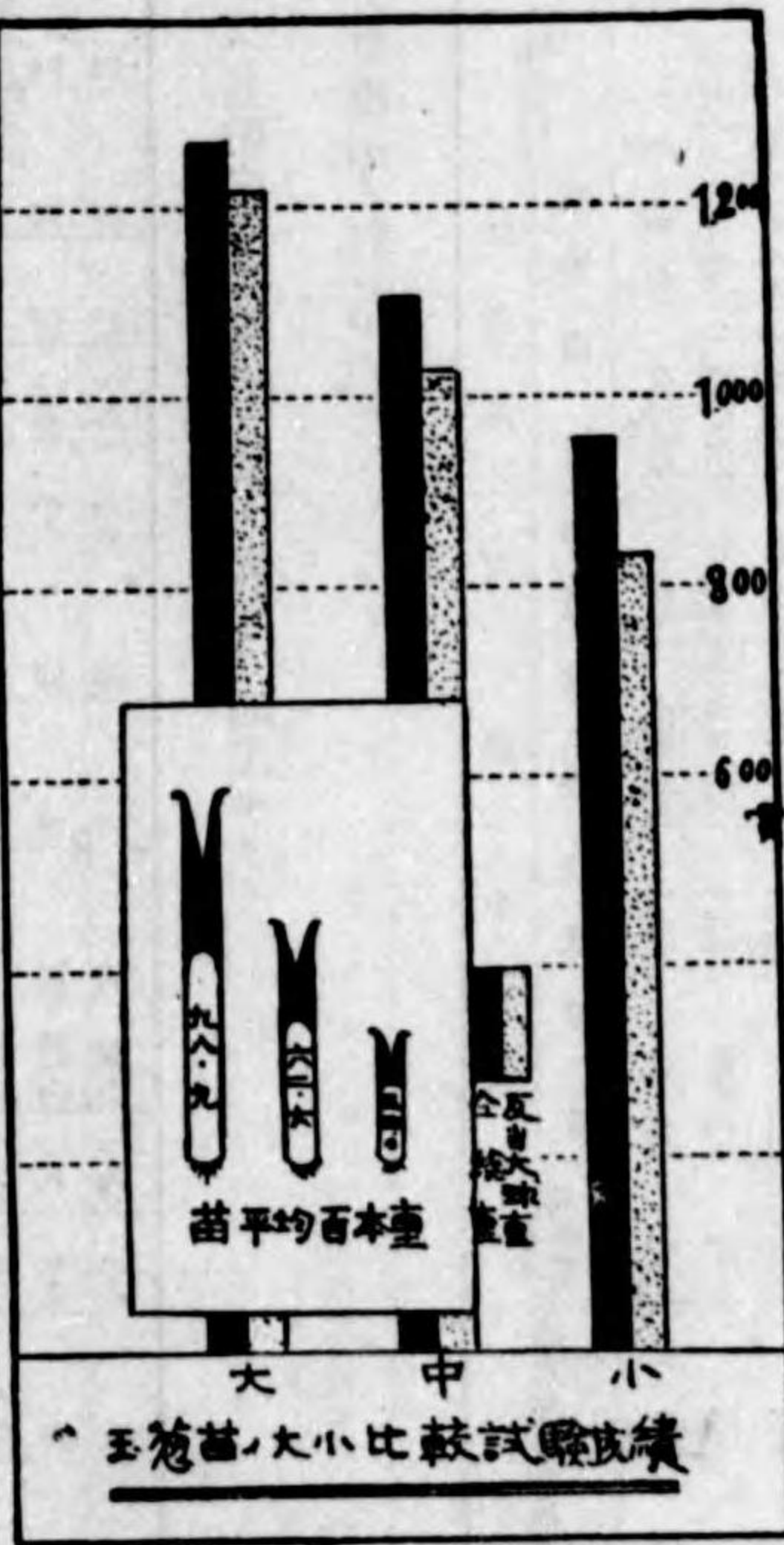
備考 苗ノ太サハ葉鞘部ノ上端ニテ其ノ周圍ヲ測定セリ。

成績 本試験ノ成績左ノ如シ。

區別	年度	採收期	總收量			大球			小球			備考
			個數	重量	個數	重量	個數	重量	一個平均重量	最大球重量	抽葉歩合	
大苗	大正十四年	七月二日	一、〇〇〇個	八、六二〇〇g	一、八〇〇個	一、〇五〇〇g	一、〇〇〇個	五〇・〇〇〇g	六二・七g	一〇三g	二八・〇%	
	昭和十五年	七月二日	一、〇〇〇個	八、六二〇〇g	一、八〇〇個	一、〇五〇〇g	一、〇〇〇個	五〇・〇〇〇g	六二・七g	一〇三g	二八・〇%	
中苗	大正十四年	七月二日	一、〇〇〇個	八、六二〇〇g	一、八〇〇個	一、〇五〇〇g	一、〇〇〇個	五〇・〇〇〇g	六二・七g	一〇三g	二八・〇%	
	昭和十五年	七月二日	一、〇〇〇個	八、六二〇〇g	一、八〇〇個	一、〇五〇〇g	一、〇〇〇個	五〇・〇〇〇g	六二・七g	一〇三g	二八・〇%	
平均	大正十四年	七月二日	一、〇〇〇個	八、六二〇〇g	一、八〇〇個	一、〇五〇〇g	一、〇〇〇個	五〇・〇〇〇g	六二・七g	一〇三g	二八・〇%	
	昭和十五年	七月二日	一、〇〇〇個	八、六二〇〇g	一、八〇〇個	一、〇五〇〇g	一、〇〇〇個	五〇・〇〇〇g	六二・七g	一〇三g	二八・〇%	



小苗	大正十四年	大正十五年	昭和元年	昭和二年	平均
播種期	七月二日	七月二日	七月二日	七月二日	七月二日
定植本数	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
切斷前減量	10.200	10.200	10.200	10.200	10.200
切斷後減量	10.200	10.200	10.200	10.200	10.200
均重量	3.200	3.200	3.200	3.200	3.200
最大球	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000
採收歩合	100	100	100	100	100
備考					



摘要

(イ) 總收量、大球收量、一個平均重量、最大球ハ孰レモ苗ノ大サニ比例ス。

(ロ) 大苗ハ抽臺歩合最多シ。

(ハ) 以上ノ成績ヲ綜合スレバ苗ハ成程度迄大ナルモノヲ用ユルガ有利ナルヲ知ル、而シテ抽臺シタルモノハ速ヤカニ摘去スルコト肝要ナリ。

第七、苗ノ切斷試驗

目的 葱頭ヲ定植スル際苗ノ葉及根ヲ切斷スルト否トハ其ノ收量ニ如何ナル影響ヲ及ボスカヲ知ラントス。

供試品種 當場黃。

試驗ノ方法

放任區 無切斷。

三寸切斷區 葉ヲ三寸根ヲ一寸ノ長サニ切斷。

五寸切斷區 葉ヲ五寸根ヲ一寸ノ長サニ切斷。

栽培摘要

區名	大正十四年		大正十五年		昭和元年		昭和二年		備考
	播種期	定植本数	播種期	定植本数	播種期	定植本数	播種期	定植本数	
放任	九月二日	1,000	九月二日	1,000	九月二日	1,000	九月二日	1,000	
三寸切斷	九月二日	1,000	九月二日	1,000	九月二日	1,000	九月二日	1,000	
五寸切斷	九月二日	1,000	九月二日	1,000	九月二日	1,000	九月二日	1,000	

區名	年度	採收期	總收量		大球		小球		一個平均重量	最大球	採收歩合	備考
			個數	重量	個數	重量	個數	重量				
放任	大正十四年	七月二日	1,000	1,010.000	1,000	1,090.000	1,000	1,000.000	1.010	11.200	100	
放任	大正十五年	七月二日	1,000	1,110.000	1,000	1,090.000	1,000	1,000.000	1.110	11.200	100	
放任	昭和元年	七月二日	1,000	1,110.000	1,000	1,090.000	1,000	1,000.000	1.110	11.200	100	
放任	昭和二年	七月二日	1,000	1,110.000	1,000	1,090.000	1,000	1,000.000	1.110	11.200	100	
平均			1,000	1,110.000	1,000	1,090.000	1,000	1,000.000	1.110	11.200	100	



五寸切斷	大正十四年		大正十五年		昭和元年		昭和二年		昭和九年		平均
	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	
三寸切斷	七・二	七・二	七・二	七・二	七・二	七・二	七・二	七・二	七・二	七・二	七・二
五寸切斷	七・一	七・一	七・一	七・一	七・一	七・一	七・一	七・一	七・一	七・一	七・一

摘要

各區ノ成績ニヨルニ放任區最モ優リ、五寸切斷區之ニ次ギ、三寸切斷區最モ劣ル、而シテソノ差異ハ極メテ僅少ナルヲ見レバ切斷ノ影響スル所大ナラザルヲ知ルベシ。

第八、苗葉綫部長短比較試驗

目的 定植期ニ於ケル苗ノ葉綫部長短ガ其ノ生育及收量ニ及ボス影響ヲ知ラントス。

供試品種 當場黃。

試驗ノ方法

第一區 特ニ長キモノ。

第二區 特ニ短キモノ。

栽培摘要

區別	大正十五年(昭和元年)				昭和二年				備考
	播種期	定植期	反當額	葉綫部長サ	播種期	定植期	反當額	葉綫部長サ	
第一區	九月廿一日	三月廿一日	1,000	自0.75至1.25	九月廿一日	三月廿一日	1,000	平均1.18	
第二區	同	同	同	自0.75至1.0	同	同	同	同	

成績

區別	年度	採收期	總收量		大球		小球		一箇平均重量	最大球	採收歩合	備考
			個數	重量	個數	重量	個數	重量				
第一區	大正十五年	七月廿二日	1,000	111.000	1,000	1,010.000	4,000	1,000	2.75	10.5	100.0	
	昭和元年	七月廿二日	1,000	100.000	1,000	1,000.000	4,000	1,000	2.50	11.5	100.0	
第二區	大正十五年	七月廿二日	1,000	100.000	1,000	1,000.000	4,000	1,000	2.50	11.0	100.0	
	昭和元年	七月廿二日	1,000	100.000	1,000	1,000.000	4,000	1,000	2.50	10.5	100.0	
平均			1,000	100.000	1,000	1,000.000	4,000	1,000	2.63	10.8	100.0	

摘要

上表ニヨルニ葉綫部長キモノハ短カキモノニ比シ常ニ成績良好ナリ。

第九、硫黃效果試驗

目的 葱頭ニ對スル刺戟肥料トシテ硫黃華ノ效果ヲ驗知シ併セテ其ノ施用適量ヲ知ラントス。

供試品種 當場黃。

試驗ノ方法 反當施用量ヲ左ノ如ク區別シタリ。

區別	施用量	備考
第一區	無施用(標準)	硫黃ハ全量ヲ原肥トシテ施用シタリ
第二區	五百貫	
第三區	貳百貫	
第四區	參百貫	
第五區	貳百貫	
第六區	四百貫	



栽培摘要

年 度	播 種 期	定 植 期	反當採種本数	苗ノ大サ(百本重)	備 考
大正十五年	九月六日	三月三日	一八〇〇本	四六・六	
昭和元年	九月六日	三月三日	一八〇〇本	四六・六	
昭和二年	九月六日	三月三日	一八〇〇本	四六・六	

成績

區 名	年 度	採收期	總 收 量		大 球		小 球		一個平均重量	最大球	備 考
			個 数	重 量	個 数	重 量	個 数	重 量			
第一區	大正十五年	七月二日	一八〇〇	一〇〇・〇〇〇	一五〇	一五・〇〇〇	一〇〇	一〇・〇〇〇	五五・〇	八・五	
	昭和元年	七月二日	一八〇〇	一〇〇・〇〇〇	一五〇	一五・〇〇〇	一〇〇	一〇・〇〇〇	五五・〇	八・五	
第二區	大正十五年	七月二日	一八〇〇	一〇〇・〇〇〇	一五〇	一五・〇〇〇	一〇〇	一〇・〇〇〇	五五・〇	八・五	
	昭和元年	七月二日	一八〇〇	一〇〇・〇〇〇	一五〇	一五・〇〇〇	一〇〇	一〇・〇〇〇	五五・〇	八・五	
第三區	大正十五年	七月二日	一八〇〇	一〇〇・〇〇〇	一五〇	一五・〇〇〇	一〇〇	一〇・〇〇〇	五五・〇	八・五	
	昭和元年	七月二日	一八〇〇	一〇〇・〇〇〇	一五〇	一五・〇〇〇	一〇〇	一〇・〇〇〇	五五・〇	八・五	
第四區	大正十五年	七月二日	一八〇〇	一〇〇・〇〇〇	一五〇	一五・〇〇〇	一〇〇	一〇・〇〇〇	五五・〇	八・五	
	昭和元年	七月二日	一八〇〇	一〇〇・〇〇〇	一五〇	一五・〇〇〇	一〇〇	一〇・〇〇〇	五五・〇	八・五	
第五區	大正十五年	七月二日	一八〇〇	一〇〇・〇〇〇	一五〇	一五・〇〇〇	一〇〇	一〇・〇〇〇	五五・〇	八・五	
	昭和元年	七月二日	一八〇〇	一〇〇・〇〇〇	一五〇	一五・〇〇〇	一〇〇	一〇・〇〇〇	五五・〇	八・五	
第六區	大正十五年	七月二日	一八〇〇	一〇〇・〇〇〇	一五〇	一五・〇〇〇	一〇〇	一〇・〇〇〇	五五・〇	八・五	
	昭和元年	七月二日	一八〇〇	一〇〇・〇〇〇	一五〇	一五・〇〇〇	一〇〇	一〇・〇〇〇	五五・〇	八・五	
平 均											

摘 要

上表ニヨリ成績ノ順位ヲ示セバ次ノ如シ。

(イ)總收量 二、五、三、一、四、六區。

(ロ)大球收量 五、二、三、一、四、六區。

(ハ)一個平均重量 二、五、六、四、三、一區。

依是見ルニ硫黄華ヲ施用セルモノハ施用セザルモノニ比シ概シテ良好ノ成績ヲ示セリ。

第十、除土ニ關スル試驗

目的 鱗球肥大生長ノ時期ニ除土シ球ヲ露出シタル場合ト然ラザル場合ノ効果ヲ比較セントス。

供試品種

大正十四年 泉州黃、地球型黃。

大正十五年 エーローダンパス、ニエローグロブダンパス、ブライズターカー、アルサクレグ、當場黃。

昭和二年 エーローダンパス、ニエローグロブダンパス、ブライズターカー、サットンズエーワン、當場黃。

土質 埴質壤土。

試驗ノ方法

除土區 球ノ周圍ノ土ヲ去リ其ノ半ヲ地表ニ露出セシメタルモノ、



放任區 何等手ヲ加ヘザルモノ。  
 培土區 土寄セシ球ノ全部ヲ埋没シタルモノ。  
 栽培摘要

區別	大正十四年			大正十五年(昭和元年)			昭和二年		
	播種期	定植期	反當栽培本數平均	播種期	定植期	反當栽培本數平均	播種期	定植期	反當栽培本數平均
放任區	九月三日	三月七日	同	九月三日	三月七日	同	九月三日	三月七日	同
培土區	同	同	同	同	同	同	同	同	同

成績 各年ニ於ケル各品種平均成績次ノ如シ。

區名	年度	採收期	總收量			大球			小及割球			一個平均	最大球	採收歩合	備考	
			個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量						
除土	大正十四年	七月二日	13,800	2,000	3,200	9,600	1,800	1,400	8,200	600	1,400	6.0	100	100	48.8	
	大正十五年	七月二日	17,800	2,600	3,800	14,000	2,800	1,200	12,800	500	1,300	6.5	100	100	50.0	
	昭和元年	七月二日	17,800	2,600	3,800	14,000	2,800	1,200	12,800	500	1,300	6.5	100	100	50.0	
平均			17,800	2,600	3,800	14,000	2,800	1,200	12,800	500	1,300	6.5	100	100	50.0	
放任	大正十四年	七月二日	13,800	2,000	3,200	9,600	1,800	1,400	8,200	600	1,400	6.0	100	100	48.8	
	大正十五年	七月二日	17,800	2,600	3,800	14,000	2,800	1,200	12,800	500	1,300	6.5	100	100	50.0	
	昭和元年	七月二日	17,800	2,600	3,800	14,000	2,800	1,200	12,800	500	1,300	6.5	100	100	50.0	
平均			17,800	2,600	3,800	14,000	2,800	1,200	12,800	500	1,300	6.5	100	100	50.0	
培土	大正十四年	七月二日	13,800	2,000	3,200	9,600	1,800	1,400	8,200	600	1,400	6.0	100	100	48.8	
	大正十五年	七月二日	17,800	2,600	3,800	14,000	2,800	1,200	12,800	500	1,300	6.5	100	100	50.0	
	昭和元年	七月二日	17,800	2,600	3,800	14,000	2,800	1,200	12,800	500	1,300	6.5	100	100	50.0	
平均			17,800	2,600	3,800	14,000	2,800	1,200	12,800	500	1,300	6.5	100	100	50.0	

備考 培土區大正十四年供試品種ハ地球形黃一品種ヲ以テセリ。

摘要 右表ニヨレバ除土區最モ優リ放任區之ニ次ギ、培土區最モ劣ル、然レドモ大正十四年ヲ除クニケ年平均成績ニヨルトキハ反對ニ培土區最モ優リ放任區之ニ次ギ、除土區最モ劣ルヲ見ル。

第十一、捻曲ニ關スル試驗

目的 鱗球ノ肥大生長促進ノタメ行フ首部捻曲ノ適當ナル時期ニツキ知ラントス。  
 供試品種 當場黃。

捻曲時期 五月十六日、二十一日、二十六日、三十一日、六月五日、十日。  
 栽培摘要

年度	播種期	定植期	反當栽培本數	備考
大正十四年	七月二日	三月七日	11,000	
大正十五年	七月二日	三月七日	11,000	
昭和元年	七月二日	三月七日	11,000	

成績

採收時期	年度	採收期	總收量			大球			小球			一個平均	備考
			個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量			
五月二日	大正十五年	六月三日	11,000	1,600	2,800	8,200	1,800	1,400	6,800	400	1,400	6.0	
五月二日	昭和元年	六月三日	11,000	1,600	2,800	8,200	1,800	1,400	6,800	400	1,400	6.0	
平均			11,000	1,600	2,800	8,200	1,800	1,400	6,800	400	1,400	6.0	







豌豆品種 (實物大)

広島早生



田子白花



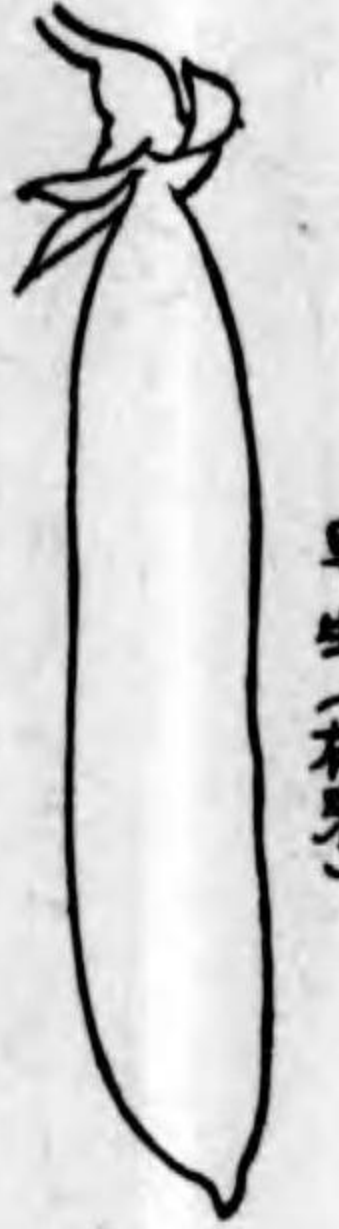
静岡早生



たきま



早生 (在来)



アチスカ



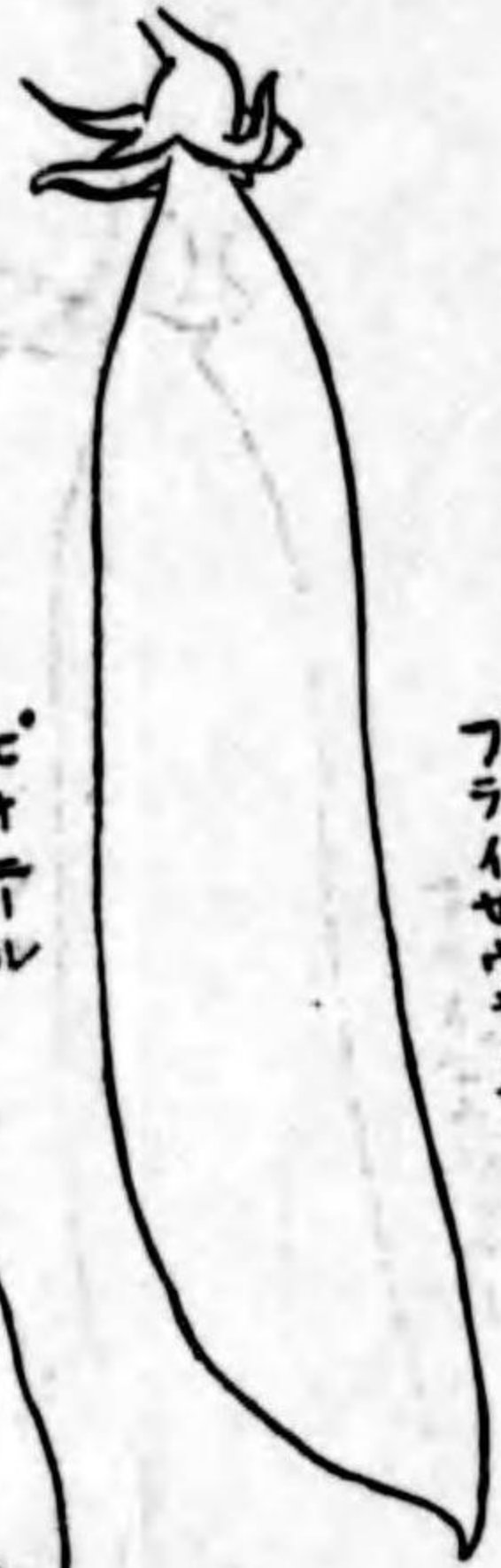
ベストオブオール



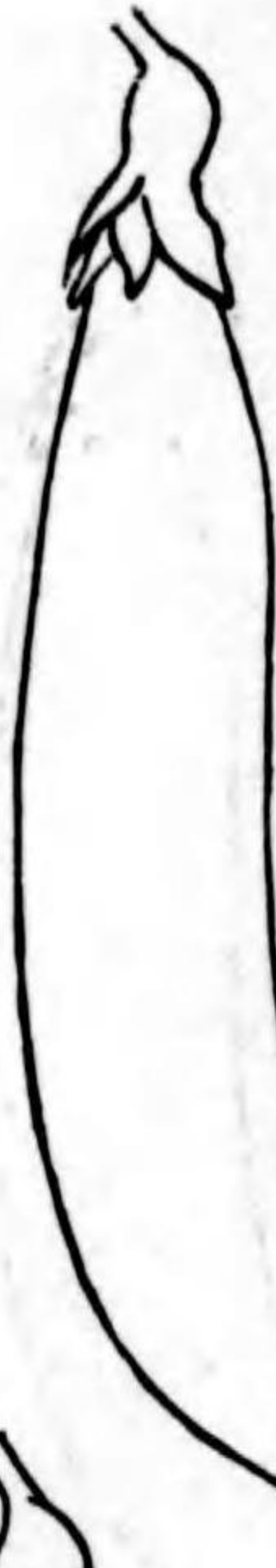
ジューノー



プライムセウキナー



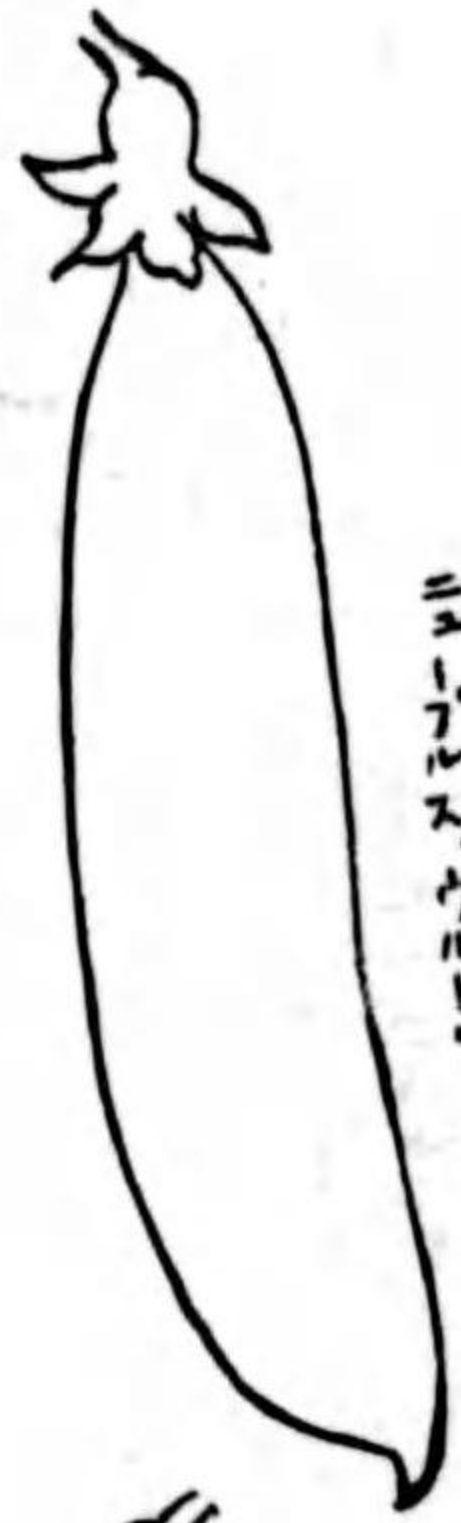
ピオキール



グリーンゼム



ニールブルスウレタラ



アマチアリスフライド



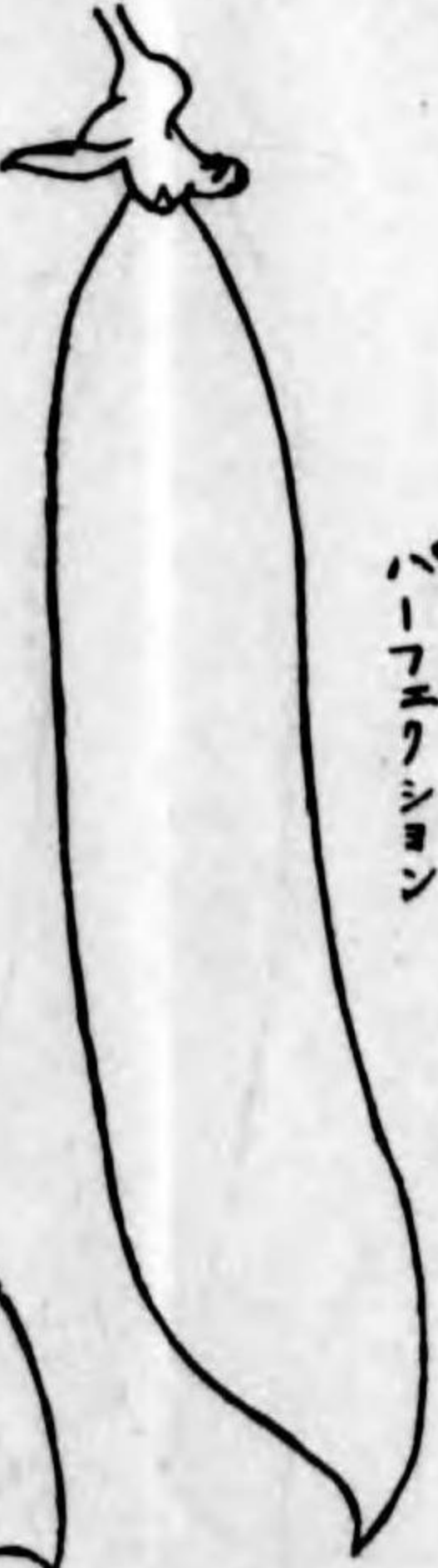
セレクティブロウグランドスター



テレホン



ハイフュクシヨウ



伴國大莢



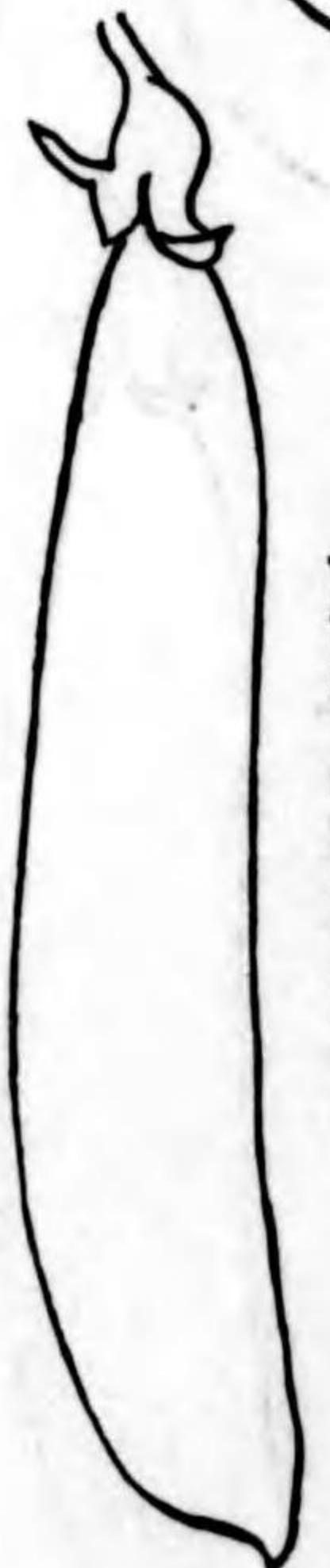
白花絹莢 (在来)



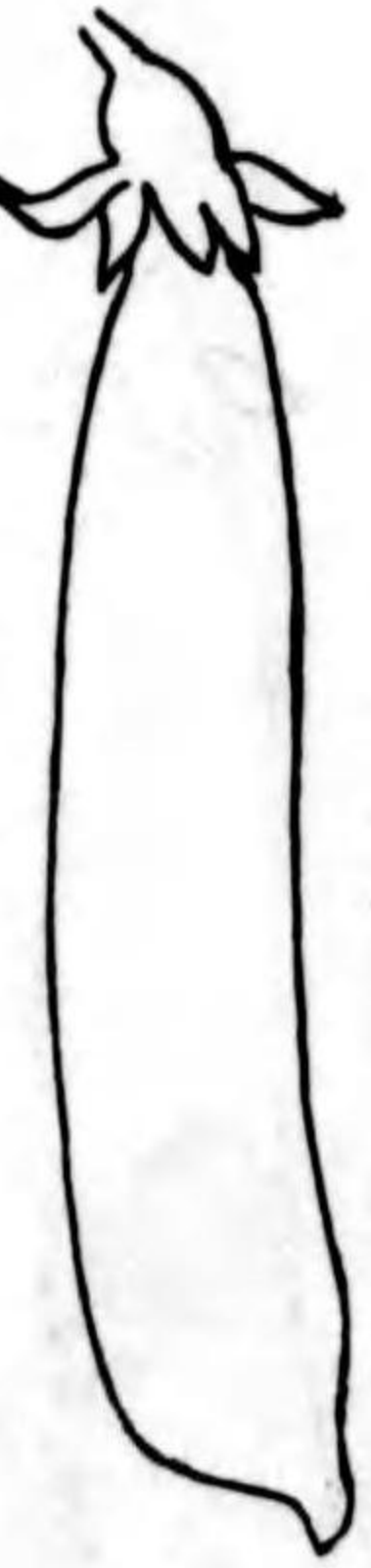
在来大剥



アメリカンチャンピオン



アールーチャンピオン

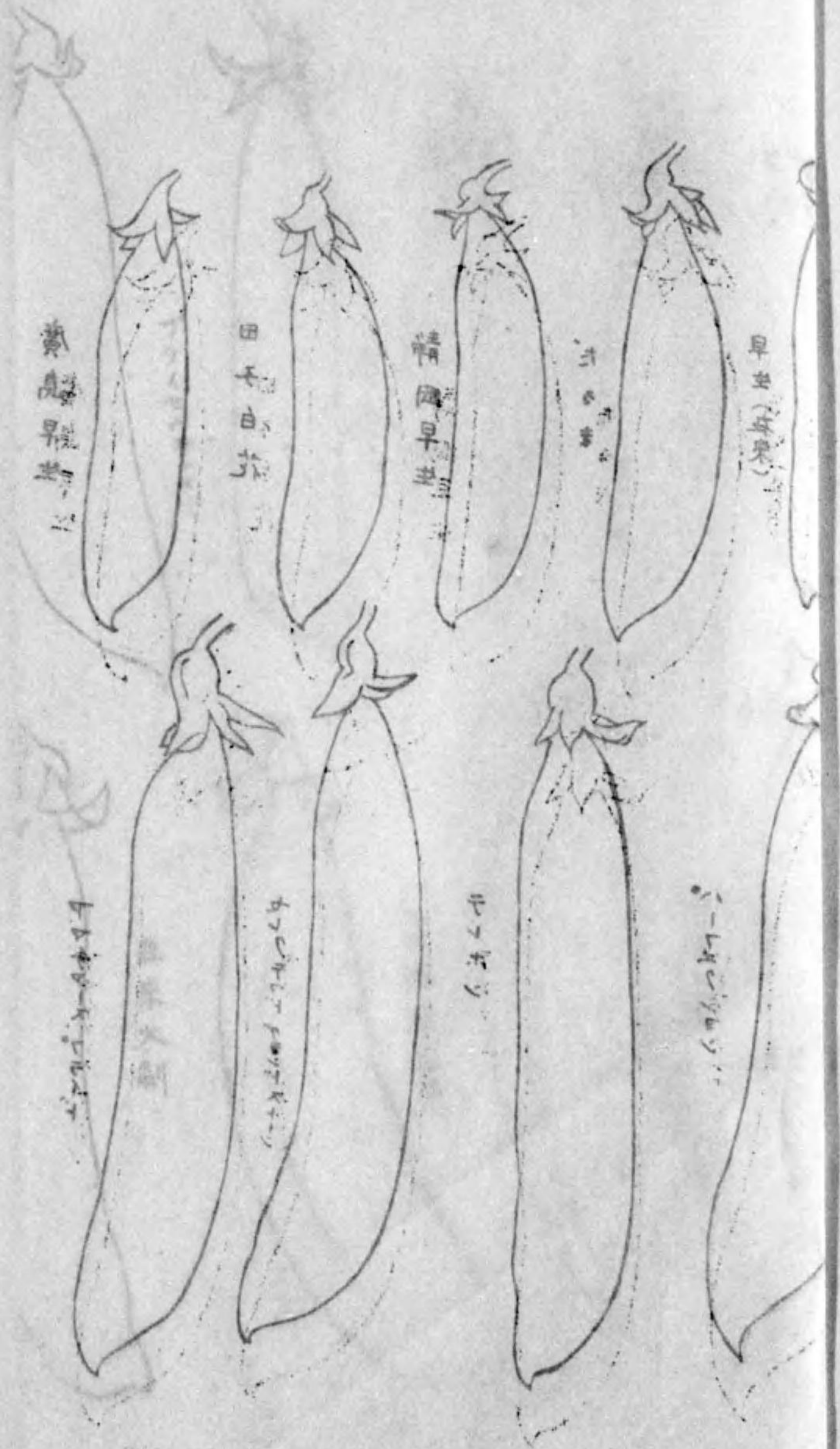


アールーチャンピオン





# 豌豆品種(實大)



## 三、豌豆

### 耕種概要

播種時期 十月下旬乃至十一月月上旬、方法 直、點播、種量 反當二升乃至四升五合。  
 栽植距離 畦幅 三尺乃至三尺六寸、株間 一尺乃至一尺二寸。  
 肥料 一反步當左ノ如シ。

肥料名	總施用量	元肥	追肥	三要素量			備考
				窒素	磷酸	加里	
堆肥	二五〇	三〇	一〇	一・五〇	〇	一・五〇	
油粕	二五〇	三〇	一〇	〇	〇	一・五〇	
過磷酸石灰	二五〇	三〇	一〇	〇	〇	一・五〇	
木灰	二五〇	三〇	一〇	〇	〇	一・五〇	
人糞	二五〇	三〇	一〇	〇	〇	一・五〇	
計				三・六六	〇	四・〇〇	

管理 十二月防寒ノタメ根際ニ切藁又ハ粗穀ノ撒布、除草、補肥、四月上旬頃支柱立、時々結付ケヲ行フ。

### 第一、品種試驗

目的 各地ノ品種ヲ蒐集栽培シ優良品種ヲ驗知セントス。  
 供試品種及栽培摘要 表記セバ次ノ如シ。



品種名	大正十四年				大正十五年(昭和元年)				昭和二年			
	播種期	播種量	採收期	採收量	播種期	播種量	採收期	採收量	播種期	播種量	採收期	採收量
廣島早生	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
田子白花	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
在來早生	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
アラスカ	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
ベストオール	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
ジュノ	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
ブライゼ	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
ウキンナー	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
アライアント	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
バイオニール	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
グリーンゼム	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
ニューブルス	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
ウルトラ	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
アマチュア	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
ブライト	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
セレクトツド	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
ランドスト	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
テレホン	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
パフエ	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100
グシヨン	10/27	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100	11/1	100

品種名	年	播種期	播種量	採收期	採收量	一株當り	用途	備考
佛國大莢	大正十五年	10/27	100	11/1	100	100	精莢用(小)	
在來白花	大正十五年	10/27	100	11/1	100	100	精莢用(小)	
在來大莢	大正十五年	10/27	100	11/1	100	100	精莢用(小)	
アメリカン	大正十五年	10/27	100	11/1	100	100	精莢用(小)	
サットン	大正十五年	10/27	100	11/1	100	100	精莢用(小)	
チャンピオン	大正十五年	10/27	100	11/1	100	100	精莢用(小)	

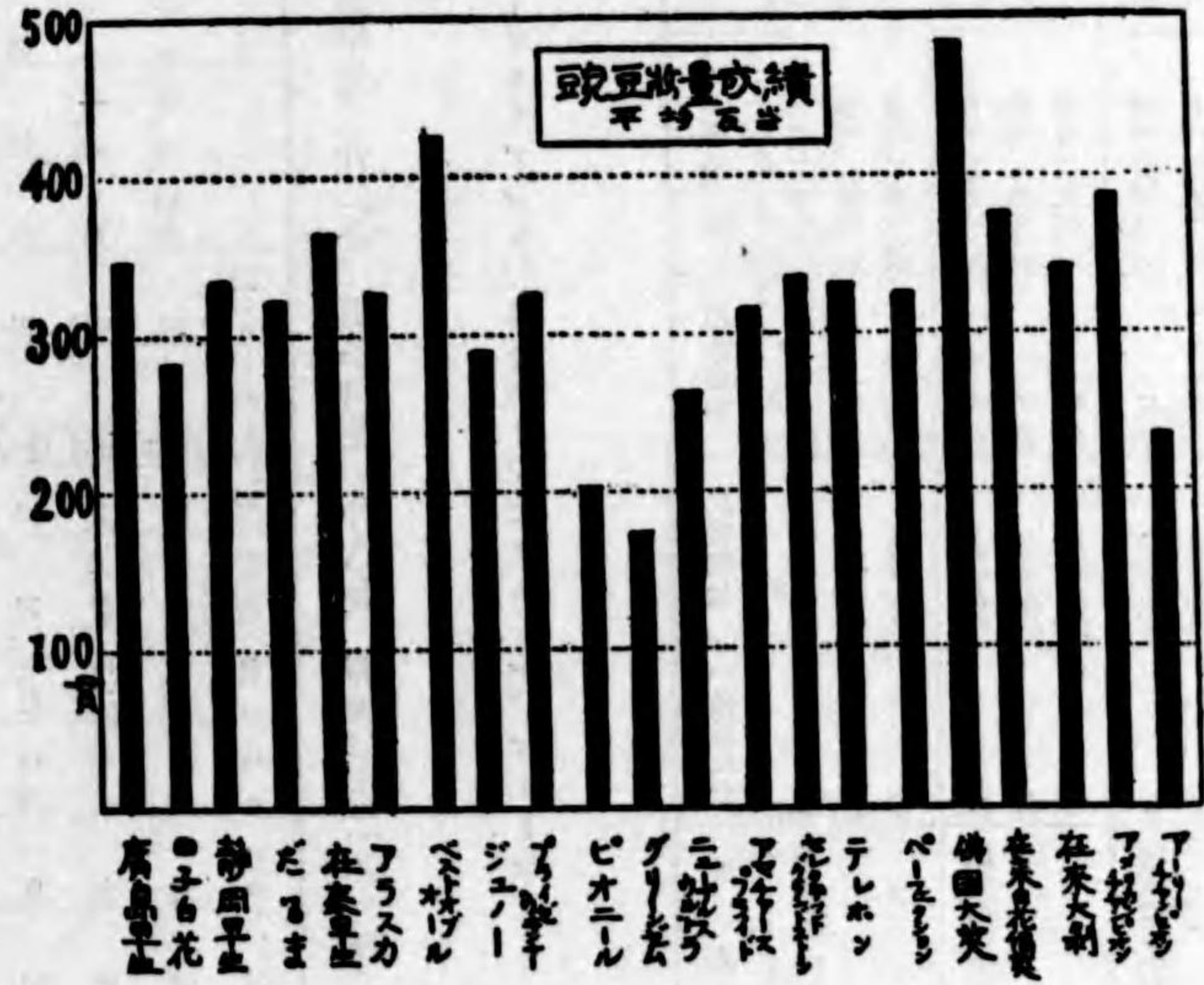
備考 播種量ハ反當廣島早生二升二合、田子白花一升八合、静岡早生二升一合、だるま二升二合、サットンヌアーリーチャンピオン三升二合。

成績 寒害最モ多キモノ、アールーシヤアント、多キモノ、バイオニール、グリーンゼム、アラスカ。

品種名	年	播種期	播種量	採收期	採收量	一株當り	用途	備考
廣島早生	大正十五年	10/27	100	11/1	100	100	精莢用(小)	
田子白花	大正十五年	10/27	100	11/1	100	100	精莢用(小)	
静岡早生	大正十五年	10/27	100	11/1	100	100	精莢用(小)	



グリーンゼム	ピオニール	プライゼウ井ナール	ジュノール	ベストオポール	アラスカ	在来早生	だるま
昭和二年	昭和二年 平均	大正十四年 昭和二年 平均	大正十四年 昭和二年 平均	大正十四年 昭和二年 平均	大正十五年	大正十四年 昭和二年 平均	大正十五年 昭和二年 平均
自五、三至六、五	自五、三至六、五	自六、上旬至同中旬 自五、三至六、五	自五、三至六、五	自五、三至六、五	自五、一八至六、八	自五、一八至六、八	自五、一八至六、八
五、三	五、三	五、三	五、三	五、三	五、三	五、三	五、三
一五、九〇〇	一〇、九〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
六 青 實 用	六 青 實 用	六 青 實 用	六 青 實 用	六 青 實 用	六 青 實 用	六 青 實 用	六 青 實 用





佛 國 大 莢	パ ー フ エ ク シ ョ ン	テ レ ホ ン	セ レ ク タ ヲ ド グ ラ ン ド ス ト ー ン	ア マ チ ュ ア ー ス プ ラ イ ド	ニ ュ ー プ ル ス ラ ウ ル ト ラ
大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均	大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均	大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均	大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均	大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均	大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均
自下、下旬至六、中旬 自下、三至六、旬 自下、七至六、旬 自下、六至六、旬	自下、下旬至六、中旬 自下、三至六、旬 自下、七至六、旬 自下、六至六、旬	自下、下旬至六、中旬 自下、三至六、旬 自下、七至六、旬 自下、六至六、旬	自下、下旬至六、中旬 自下、三至六、旬 自下、七至六、旬 自下、六至六、旬	自下、下旬至六、中旬 自下、三至六、旬 自下、七至六、旬 自下、六至六、旬	自下、下旬至六、中旬 自下、三至六、旬 自下、七至六、旬 自下、六至六、旬
五、八	六、三	六、一	六、三	六、一	六、七
三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇
三	二六	二六	一〇	二六	六
青實用(小)	青實用	青實用	青實用	青實用	青實用

在 來 大 莢	在 來 白 花 絹 莢	ア ー リ ー チ ャ ン ピ オ ン	ア メ リ カ ン チ ャ ン ピ オ ン
大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均	大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均	大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均	大正十四年 昭和十五年 昭和十六年 平均
自下、下旬至六、中旬 自下、三至六、旬 自下、七至六、旬 自下、六至六、旬	自下、下旬至六、中旬 自下、三至六、旬 自下、七至六、旬 自下、六至六、旬	自下、下旬至六、中旬 自下、三至六、旬 自下、七至六、旬 自下、六至六、旬	自下、下旬至六、中旬 自下、三至六、旬 自下、七至六、旬 自下、六至六、旬
五、八	五、三	五、三	五、三
三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇
三	二六	二六	二六
青實用	青實用	青實用	青實用

摘 要

(イ)絹莢用大莢種中、佛國大莢ハ在來白花絹莢ニ比シ採收時期晚キモ收量一層多シ、同小莢種中採收時期ニ於テハ静岡早生最モ早ク、廣島早生、田子白花之ニ次ギだるま最モ晩シ、收量ニ於テハ廣島早生最モ多ク、静岡早生だるま之ニ次ギ田子白花最モ少シ。

(ロ)罐詰用 在來早生、アラスカ、ベストオブオール、アーリーチャンピオン、中最モ多收穫ニシテ優良ト認ムベキモノハ、ベストオブオールナリ、アラスカハ品質佳良ナルモ寒害ヲ被ムルコト多ク特ニ早播セルモノニ於テ甚シ。  
(ハ)青實用種中收量最モ多キハ、アメリカンチャンピオンニシテ、在來大莢、セレクトアドグランドストーン、テレホン、ブライゼウキンナー、パーフェクション、アマチュアースプライド、ジュノー、ニューブルスウルトラ、ピオ











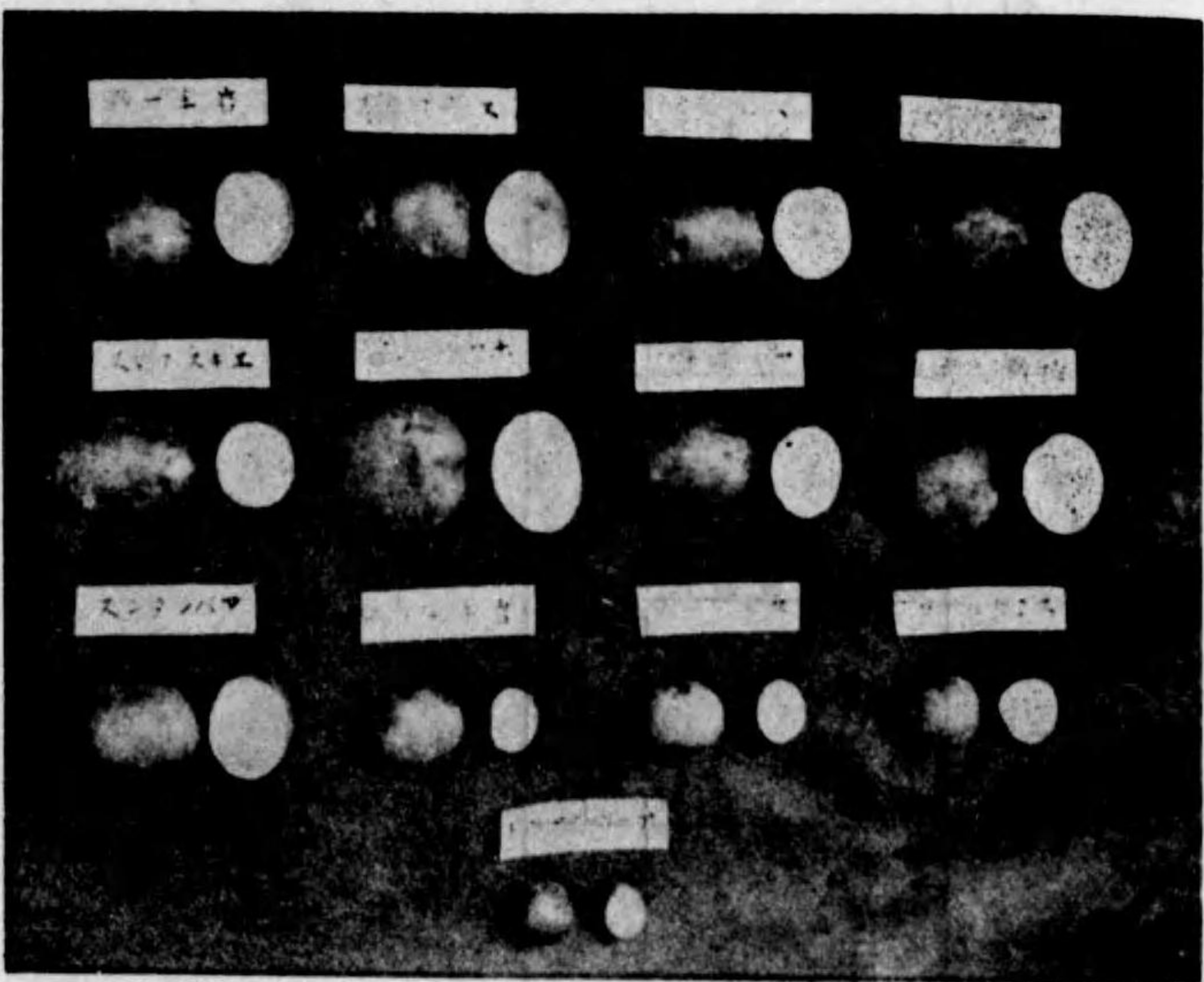




供試品種及種薯

品種名	購入先
アーリーローズ	横濱植木株式会社
バーバンク	同上
スノーフレイヤ	同上
白	瀬井種苗株式会社
薄	同上
地	府下相模郡榎倉村
早	府下飯沼郡田邊町
早	ヤマト種苗農具株式会社
種	同上
早	横濱植木株式会社
種	京都市帝國大學農学部
ア	同上
ア	同上
ス	同上
ス	同上
ゼ	同上
ア	同上
岩	岩手縣立農事試験場
岩	同上
手	同上
二	同上
號	同上

馬鈴薯品種圖



號一手岩・クレーフ・ノス・クンパーバ・ズーローリーア リよ右段上  
 スレプスキエ・ーナシトイワホ・ラプコシュリイア・形丸生早種 リよ右段中  
 スンダンバア・號二手岩・プロッシビセ・ルセッカゲンリータス リよ右段下  
 トッケマーリーア

栽培摘要 左表ノ如シ。

品種名	大正十四年		大正十五年		昭和二年		昭和三年		備考
	栽培期	採收期	栽培期	採收期	栽培期	採收期	栽培期	採收期	
アーリーローズ	四月二日	七月三日	四月二日	七月三日	五月二日	七月三日	五月二日	七月三日	
バーバンク	同	同	同	同	同	同	同	同	
スノーフレイヤ	同	同	同	同	同	同	同	同	
白	同	同	同	同	同	同	同	同	
薄	同	同	同	同	同	同	同	同	
地	同	同	同	同	同	同	同	同	
早	同	同	同	同	同	同	同	同	
種	同	同	同	同	同	同	同	同	
早	同	同	同	同	同	同	同	同	
種	同	同	同	同	同	同	同	同	
丸	同	同	同	同	同	同	同	同	
形	同	同	同	同	同	同	同	同	
ホ	同	同	同	同	同	同	同	同	
ワ	同	同	同	同	同	同	同	同	
イ	同	同	同	同	同	同	同	同	
リ	同	同	同	同	同	同	同	同	
ツ	同	同	同	同	同	同	同	同	
シ	同	同	同	同	同	同	同	同	
ユ	同	同	同	同	同	同	同	同	
コ	同	同	同	同	同	同	同	同	
ア	同	同	同	同	同	同	同	同	
バ	同	同	同	同	同	同	同	同	
ン	同	同	同	同	同	同	同	同	
ダ	同	同	同	同	同	同	同	同	
ン	同	同	同	同	同	同	同	同	
ス	同	同	同	同	同	同	同	同	
レ	同	同	同	同	同	同	同	同	
ス	同	同	同	同	同	同	同	同	
タ	同	同	同	同	同	同	同	同	
カ	同	同	同	同	同	同	同	同	
ツ	同	同	同	同	同	同	同	同	
セ	同	同	同	同	同	同	同	同	
ビ	同	同	同	同	同	同	同	同	
シ	同	同	同	同	同	同	同	同	
ヨ	同	同	同	同	同	同	同	同	
ツ	同	同	同	同	同	同	同	同	
ア	同	同	同	同	同	同	同	同	
マ	同	同	同	同	同	同	同	同	
リ	同	同	同	同	同	同	同	同	
ケ	同	同	同	同	同	同	同	同	
ツ	同	同	同	同	同	同	同	同	
ト	同	同	同	同	同	同	同	同	
岩	同	同	同	同	同	同	同	同	
手	同	同	同	同	同	同	同	同	
一	同	同	同	同	同	同	同	同	
號	同	同	同	同	同	同	同	同	

成績 本試験ノ成績左表ノ如シ。

品種名	年度	反當總收量		大薯		中薯		小薯		種薯差引	備考
		個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量		
大正十四年	同	3,500	200,000	7,000	110,000	5,000	60,000	8,500	100,000		
反當		3,000株									



品名	年	平均	昭和三年	昭和二年	昭和元年	大正十四年	大正十五年	大正十六年	備考
アールローズ	大正十五年	11,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
アールローズ	昭和二年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
アールローズ	昭和三年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
アールローズ	平均	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
パールペンク	大正十四年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
パールペンク	昭和元年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
パールペンク	昭和二年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
パールペンク	昭和三年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
パールペンク	平均	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
スノーフレーキ	大正十四年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
スノーフレーキ	昭和元年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
スノーフレーキ	昭和二年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
スノーフレーキ	昭和三年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
スノーフレーキ	平均	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
薄赤	大正十四年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
地赤	昭和二年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
早生丸	昭和二年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
極早生丸	昭和三年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
ホワイトシチュ	昭和二年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
アイリッシュコブラ	昭和二年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
アパンド	昭和二年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
エキスプレ	昭和二年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
スターリング	昭和二年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
カッセル	昭和二年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
ゼ・ビショップ	昭和二年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植
アールローズ	昭和二年	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	反當三、四株植

備考 大正十四年アールローズハ一部分地味不良ノタメ收量ヲ減セリ、又多クノ品種ハ試験年數短カキヲ遺憾トス。

第二、品種特性調査

品名	形状	大	サ	芽ノ深淺	皮	色	肉色	食味	備考
アールローズ	長楕圓、扁	大	大	中	中	淡紅	淡黃、紅暈	中	赤色種ハ需要次第ニ減ズル傾向ニアリ
パールペンク	長楕圓、扁	中	中	中	中	淡紅	淡黃、紅暈	中	
スノーフレーキ	長楕圓、扁	中	中	中	中	淡紅	淡黃、紅暈	中	
薄赤	長楕圓、扁	中	中	中	中	淡紅	淡黃、紅暈	中	
地赤	長楕圓、扁	中	中	中	中	淡紅	淡黃、紅暈	中	
早生丸	長楕圓、扁	中	中	中	中	淡紅	淡黃、紅暈	中	
極早生丸	長楕圓、扁	中	中	中	中	淡紅	淡黃、紅暈	中	
ホワイトシチュ	楕圓、扁	中	中	中	中	淡紅	淡黃、紅暈	中	
アイリッシュコブラ	楕圓、扁	中	中	中	中	淡紅	淡黃、紅暈	中	形状概シテ整一ナリ
アパンド	楕圓、扁	中	中	中	中	淡紅	淡黃、紅暈	中	
エキスプレ	楕圓、扁	中	中	中	中	淡紅	淡黃、紅暈	中	
スターリング	楕圓、扁	中	中	中	中	淡紅	淡黃、紅暈	中	
カッセル	楕圓、扁	中	中	中	中	淡紅	淡黃、紅暈	中	
ゼ・ビショップ	楕圓、扁	中	中	中	中	淡紅	淡黃、紅暈	中	
アールローズ	楕圓、扁	中	中	中	中	淡紅	淡黃、紅暈	中	栽培容易ナリ



摘要

一、收量最も多カリシハ、ホワイトシチー、ニシテ、アイリツシユコブラ、地赤、エキスプレス、極早生丸形、薄赤、パーバンク、アーリーローズ、早生白、白、岩手一號、スノーフレキ、其他順次之ニ次ク。

第三、種薯切斷試験

目的 種薯切斷ノ効果竝ニ其ノ適當ナル方法ヲ驗知セントス。

供試品種 アーリーローズ。

試験方法

第一區 無處理(標準)

第二區 頭部切除

第三區 基部切除

第四區 縱斷

栽培摘要

區名	大正十五年		昭和二年		昭和三年		備考
	栽植期	採收期	栽植期	採收期	栽植期	採收期	
一	四月五日	七月七日	三月九日	七月五日	三月三日	七月九日	
二	同	同	同	同	同	同	
三	同	同	同	同	同	同	
四	同	同	同	同	同	同	

成績 本試験ノ成績次表ノ如シ。

區別	年 度	總 收 量		大 薯		中 薯		小 薯		備考
		個 數	重 量	個 數	重 量	個 數	重 量	個 數	重 量	
第一區	大正十五年	3,260	3,717.0	1,110	1,110.0	1,110	1,110.0	1,040	1,597.0	
	昭和元年	3,100	3,500.0	1,000	1,000.0	1,000	1,000.0	1,100	1,500.0	
平均	平均	3,180	3,608.5	1,055	1,055.0	1,055	1,055.0	1,070	1,548.5	
第二區	大正十五年	3,100	3,500.0	1,000	1,000.0	1,000	1,000.0	1,100	1,500.0	
	昭和元年	3,000	3,400.0	900	900.0	900	900.0	1,100	1,500.0	
平均	平均	3,050	3,450.0	950	950.0	950	950.0	1,100	1,500.0	
第三區	大正十五年	3,100	3,500.0	1,000	1,000.0	1,000	1,000.0	1,100	1,500.0	
	昭和元年	3,000	3,400.0	900	900.0	900	900.0	1,100	1,500.0	
平均	平均	3,050	3,450.0	950	950.0	950	950.0	1,100	1,500.0	
第四區	大正十五年	3,100	3,500.0	1,000	1,000.0	1,000	1,000.0	1,100	1,500.0	
	昭和元年	3,000	3,400.0	900	900.0	900	900.0	1,100	1,500.0	
平均	平均	3,050	3,450.0	950	950.0	950	950.0	1,100	1,500.0	
		全收量ニ對スル大		中薯歩合						
		86.5%		11.1%						

備考 昭和三年四月二十五日厚霜アリ、己ニ發芽シタルモノハ被害少ナカラザリキ。

摘要 右表三ヶ年平均成績ハ第四區最も優リ、第一區、第二區、第三區順次之ニ次グ。



然レドモ霜害ヲ見タル昭和三年ヲ除クニケ年平均成績ハ第四區最モ優リ第三區、第二區、第一區順次之ニ次グ。  
大、中薯歩合ハ第四區最モ優リ第一區、第二區、第三區順次之ニ次グ。  
要之ニ種薯ハ大ナルモノヲ縦斷シ栽植スルヲ可トスベシ。

第四、種薯備蓄試驗

目的 豫メ催芽セシメタル種薯ヲ栽植シタル場合、其ノ收量並ニ採收時期ニ及ボス影響ヲ知ラントス。  
供試品種 アーリーローズ。

試驗方法

第一區 栽植約二週間前種薯ヲ温床内ニ伏込ミ催芽セシメタルモノ。  
第二區 何等處理セザルモノ(標準)  
栽培摘要

區名	大正十五年		昭和二年		昭和三年		備考
	栽植期	採收期	栽植期	採收期	栽植期	採收期	
一	四月三日	七月七日	三月元日	六月十日	三月三日	六月十日	種薯ハ縦斷ス 芽長シタルモノハ 一ノチニ達セル モノヲ栽植ス
二	四月三日	七月七日	三月元日	六月十日	三月三日	六月十日	

成績 本試驗ノ成績次ノ如シ。

(イ)一回目採收(反當)

區名	年度	總重量			大薯			中薯			小薯			全收量ニ對スル大薯ノ歩合	備考
		個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量				
第一區	昭和二年	3,180	4,000	9,200	1,100	1,600	6,100	1,100	1,600	2,000	2,500	8,200	89.2%		
	昭和三年	3,180	4,000	9,200	1,100	1,600	6,100	1,100	1,600	2,000	2,500	8,200	89.2%		
平均		3,180	4,000	9,200	1,100	1,600	6,100	1,100	1,600	2,000	2,500	8,200	89.2%		
第二區	昭和二年	2,800	3,500	8,500	1,000	1,500	5,500	1,000	1,500	1,500	2,000	7,500	85.7%		
	昭和三年	2,800	3,500	8,500	1,000	1,500	5,500	1,000	1,500	1,500	2,000	7,500	85.7%		
平均		2,800	3,500	8,500	1,000	1,500	5,500	1,000	1,500	1,500	2,000	7,500	85.7%		

(ロ)二回目採收(反當)

區名	年度	總重量			大薯			中薯			小薯			全收量ニ對スル大薯ノ歩合	備考
		個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量				
第一區	大正十五年	2,600	3,200	7,800	1,000	1,500	5,800	1,000	1,500	1,000	1,200	7,000	87.1%		
	昭和元年	2,600	3,200	7,800	1,000	1,500	5,800	1,000	1,500	1,000	1,200	7,000	87.1%		
昭和二年	2,600	3,200	7,800	1,000	1,500	5,800	1,000	1,500	1,000	1,200	7,000	87.1%			
昭和三年	2,600	3,200	7,800	1,000	1,500	5,800	1,000	1,500	1,000	1,200	7,000	87.1%			
平均		2,600	3,200	7,800	1,000	1,500	5,800	1,000	1,500	1,000	1,200	7,000	87.1%		
第二區	大正十五年	2,500	3,100	7,600	900	1,400	5,200	900	1,400	900	1,100	6,500	85.5%		
	昭和元年	2,500	3,100	7,600	900	1,400	5,200	900	1,400	900	1,100	6,500	85.5%		
昭和二年	2,500	3,100	7,600	900	1,400	5,200	900	1,400	900	1,100	6,500	85.5%			
昭和三年	2,500	3,100	7,600	900	1,400	5,200	900	1,400	900	1,100	6,500	85.5%			
平均		2,500	3,100	7,600	900	1,400	5,200	900	1,400	900	1,100	6,500	85.5%		

摘要 右表ノ成績ヲ綜合スレバ次ノ如シ。

(イ)第一回目採收ニ於テハ第一區ハ第二區ニ比シ總收量ニ於テ六・四%多ク、大、中薯歩合ニ於テ六・三五%多シ。



(ロ)第二回目採收ニ於テハ第一區ハ第二區ニ比シ總收量ニ於テ三・五%少ナク大、中薯歩合ニ於テ四・八%少ナシ。  
 (ハ)要スルニ早期採收ノ場合ニ於テハ催芽ノ効果少ナカラザルヲ知ル。

第五、種薯種類試験

目的 種薯トシテノ夏薯秋薯ノ優劣ヲ比較セントス。

供試品種 アーリーローズ、バーバンク。

供試種薯

第一區 前年七月始採收セルモノ。

第二區 前年十一月末採收セルモノ。

栽培摘要 昭和三年施行ノモノ次ノ如シ。

區名	品種名	栽植期	種薯一個ノ重量	薯ノ性状	採收期	備考
第一區	アーリーローズ	三月三日	一八・二	發芽二寸五分	七月九日	
第二區	バーバンク	同	三・九	發芽二寸	同	
第一區	アーリーローズ	同	七一	發芽セズ	同	
第二區	バーバンク	同	二・七	發芽セズ	同	

成績 一反歩當成績次表ノ如シ。

區名	品種名	總收量		大薯		中薯		小薯		全收量對歩合
		個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量	
第一區	アーリーローズ	三、八〇〇	一、六〇〇	八、四〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	一、六〇〇	一〇、〇〇〇	一、六〇〇	八〇・〇%
	バーバンク	七、八〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	六六・七%
第二區	アーリーローズ	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	六六・七%
	バーバンク	七、八〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	六六・七%
平均		三、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	六六・七%

備考 四月二十五日ノ晩霜ニヨリ發芽セルモノハ多大ノ影響ヲ被ムレリ、特ニアーリーローズニ於テ甚シカリキ。  
 摘要 本成績ハ一ケ年ノ成績ニ過ギザレドモ秋薯ハ夏薯ニ比シソノ收穫個數多カラザルモ大形ニシテ收量多キヲ知ル、加之夏薯種ハ貯藏上大ナル困難アルヲ知ラザルベカラズ。

第六、剪枝法試験

目的 薯ノ形成充實ノ時期ニ莖葉ノ繁茂ヲ抑制スルト否トガ、其ノ收量ニ及ボス影響如何ヲ驗知セントス。

供試品種 バーバンク。

試験方法

第一區 莖葉ノ先端三四寸ヲ摘去ス。

第二區 莖葉ノ凡ソ二分ノ一ヲ摘除ス。

第三區 莖ヲ株上ニテ捻曲ス。

第四區 何等處理セズ。(標準)

栽培摘要

區名	大正十五年(昭和元年)				昭和二年				昭和三年				備考
	栽植期	剪枝期	採收期	備考	栽植期	剪枝期	採收期	備考	栽植期	剪枝期	採收期	備考	
一	四月五日	六月七日	七月七日		三月九日	六月三日	七月五日		三月三日	六月六日	七月九日		
二	同	同	同		同	同	同		同	同	同		
三	同	同	同		同	同	同		同	同	同		
四	同	同	同		同	同	同		同	同	同		



成績

區名	年度	總收量		大薯		中薯		小薯		全收量對 步合中薯	備考
		個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量		
第一區	大正十五年	17,920	1,150,000	5,800	1,900,000	9,000	1,100,000	1,100	1,100,000	88.8	
	昭和元年	17,000	1,100,000	5,500	1,800,000	8,500	1,000,000	1,000	1,000,000	87.2	
	昭和二年	17,000	1,100,000	5,500	1,800,000	8,500	1,000,000	1,000	1,000,000	87.2	
	平均	17,000	1,100,000	5,500	1,800,000	8,500	1,000,000	1,000	1,000,000	87.2	
第二區	大正十五年	16,000	1,000,000	5,000	1,700,000	8,000	900,000	1,000	900,000	79.4	
	昭和元年	16,000	1,000,000	5,000	1,700,000	8,000	900,000	1,000	900,000	79.4	
	昭和二年	16,000	1,000,000	5,000	1,700,000	8,000	900,000	1,000	900,000	79.4	
	平均	16,000	1,000,000	5,000	1,700,000	8,000	900,000	1,000	900,000	79.4	
第三區	大正十五年	15,000	900,000	4,500	1,500,000	7,500	800,000	1,000	800,000	68.5	
	昭和元年	15,000	900,000	4,500	1,500,000	7,500	800,000	1,000	800,000	68.5	
	昭和二年	15,000	900,000	4,500	1,500,000	7,500	800,000	1,000	800,000	68.5	
	平均	15,000	900,000	4,500	1,500,000	7,500	800,000	1,000	800,000	68.5	
第四區	大正十五年	14,000	800,000	4,000	1,400,000	7,000	700,000	1,000	700,000	61.5	
	昭和元年	14,000	800,000	4,000	1,400,000	7,000	700,000	1,000	700,000	61.5	
	昭和二年	14,000	800,000	4,000	1,400,000	7,000	700,000	1,000	700,000	61.5	
	平均	14,000	800,000	4,000	1,400,000	7,000	700,000	1,000	700,000	61.5	

摘要

收量最も多キハ第四區ニシテ、第一區、第三區、第二區順次之ニ次グ。  
大、中薯歩合ハ第四區最も優リ、第三區、第二區、第一區順次之ニ次グモ其差ハ各僅少ナリ。

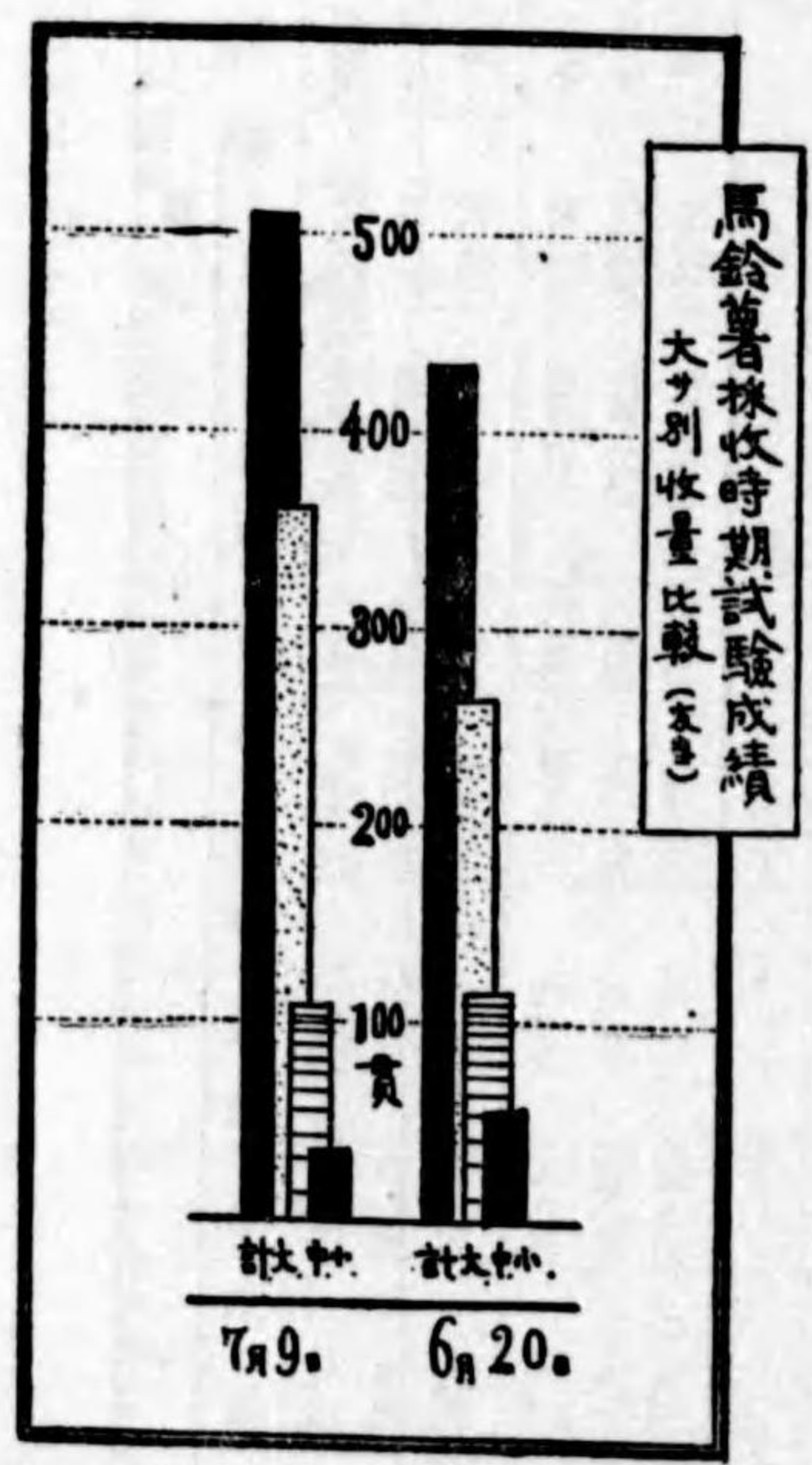
依是觀之、莖葉ノ剪枝ハ深キモノ程收量少ナキヲ見ル。

第七、採收時期試驗

目的 採收時期ノ早晚ガ其ノ收量ニ如何ナル關係ヲ及ボスカヲ知ラントス。  
供試品種 アーリーローズ。

採收時期  
第一回 六月二十日。 第二回 七月九日。  
栽培摘要

昭和二年 三月二十九日栽植 種薯平均一個 重量九匁七  
昭和三年 三月二十三日栽植 種薯平均一個 重量七匁〇





成績

採收期	年度	總收量		大薯		中薯		小薯		全收量對歩合	備考
		個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量		
第一回	昭和二年 昭和三年 平均	26,200 24,000 25,100	5,200 5,000 5,100	8,200 9,200 8,700	2,200 2,000 2,100	10,000 7,100 8,500	3,000 2,300 2,600	5,600 4,600 5,100	8,400 6,400 7,400	84.3%	
第二回	昭和二年 昭和三年 平均	25,100 24,000 24,500	6,200 5,000 5,600	11,100 8,800 10,000	4,000 3,600 3,800	9,200 8,000 8,600	11,200 10,000 10,600	3,200 2,500 2,800	4,000 3,500 3,700	81.1%	

摘要

七月九日採收セルモノハ六月二十日採收セルモノニ比シ個數ニ於テ五・七%、重量ニ於テ一六・四%ノ增收ヲ示セリ。

五、菜豆

耕種概要

播種期 四月中旬  
播種法 直點播又ハ冷床播  
播種量 三升乃至六升(反當)  
栽植距離 畦幅四尺、二條植、株間一尺、一株三本立  
施肥量 一反步當左ノ如シ。

肥料名	總施用量	元肥	追肥	三要素			備考
				窒素	磷	酸	
堆肥	150斤	150斤		870斤			
油粕	100斤			620斤			
過磷酸石灰	100斤				1,000斤		
木灰	100斤				300斤		
人糞	100斤			600斤			
計				2,120斤	3,300斤		

管理 除草、補肥、病害豫防ノタメ「ボルドウ」液ヲ二―三回灌注ス。

第一、品種試驗

目的 乾田冬作ニ適スル矮性諸品種ヲ蒐集栽培シテ適當ナル良種ヲ知ラントス。  
供試品種 矮性種左記ノ如シ。







品名	年	度	採	收	期	個	數	重	量	平均	十	英	收	量	位	備	考
カナデアノウオンドー	大正十四年	自六、一〇至七、一五	11,100	11,100	10.6	1											
	大正十五年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和元年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和二年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和三年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
ロングフエロー	大正十四年	自六、一〇至七、一五	11,100	11,100	10.6	1											
	大正十五年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和元年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和二年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和三年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
黄	大正十四年	自六、一〇至七、一五	11,100	11,100	10.6	1											
	大正十五年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和元年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和二年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和三年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
薄	大正十四年	自六、一〇至七、一五	11,100	11,100	10.6	1											
	大正十五年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和元年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和二年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和三年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
長	大正十四年	自六、一〇至七、一五	11,100	11,100	10.6	1											
	大正十五年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和元年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和二年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和三年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												

三七

成績 反當成績左表ノ如シ。

品名	年	度	採	收	期	個	數	重	量	平均	十	英	收	量	位	備	考
スーパーラチーフ	大正十四年	自六、一〇至七、一五	11,100	11,100	10.6	1											
	大正十五年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和元年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和二年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和三年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
エキストラ アイリッシュ	大正十四年	自六、一〇至七、一五	11,100	11,100	10.6	1											
	大正十五年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和元年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和二年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和三年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
ジャイアント ストリングレス	大正十四年	自六、一〇至七、一五	11,100	11,100	10.6	1											
	大正十五年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和元年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和二年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												
	昭和三年	自六、一〇至七、一五	10,000	10,000	10.6												

七二















茶豆品蘇 (實大)

御尉

ニユーキョウワックス

ブラックスベックレド

ニーストリンダレスグリーン

サキスフエクション

ホーシング

フラゲオレーション

ストリンダレス グリーンホッド

ピアレツス

エバー(アリンク)

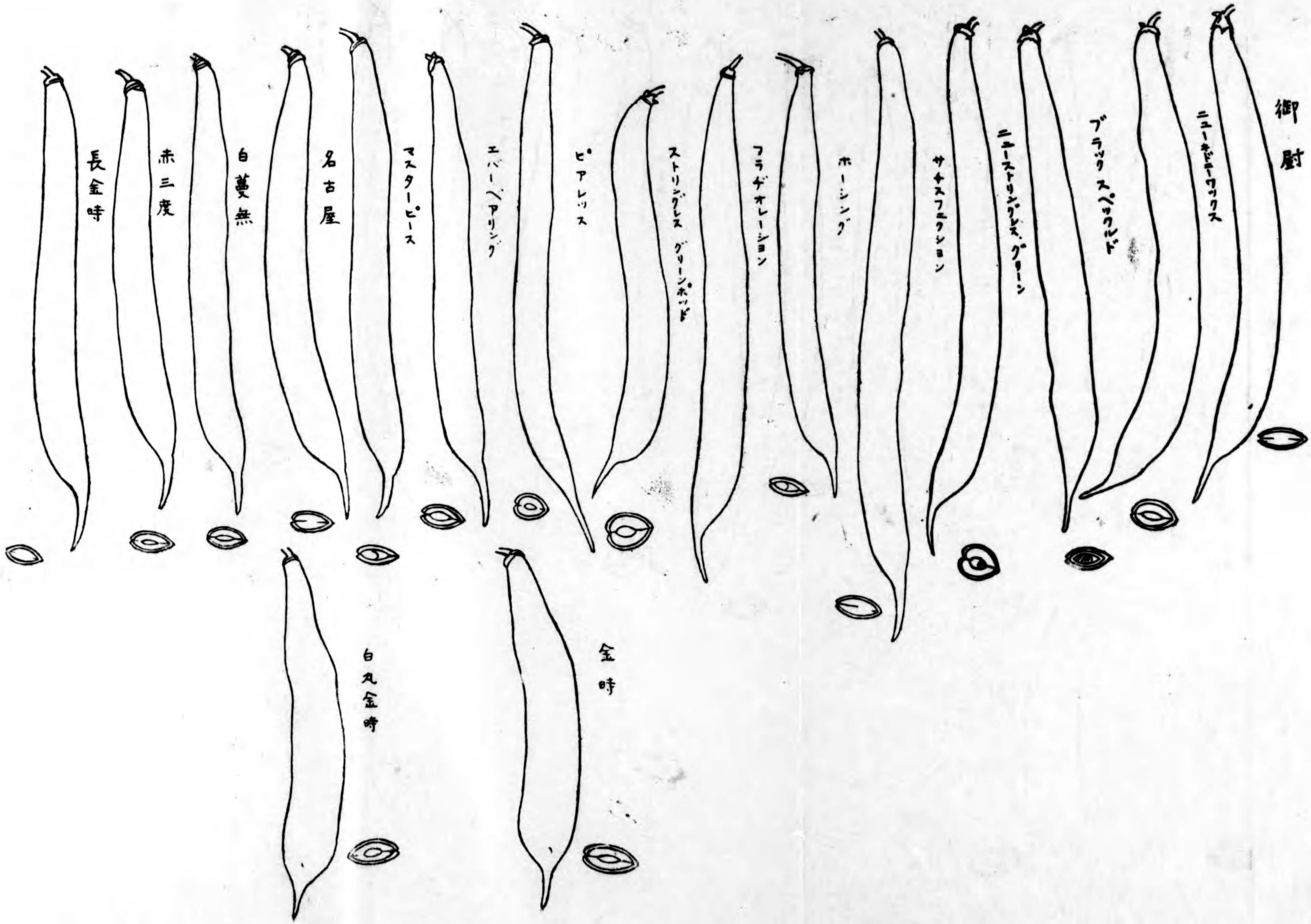
マスターピース

名古屋

白蔓無

赤三度

長金時



全時

白丸金時







備考

(イ)本表中種實ニ關スル事項ハ昭和三年四月播種シタルモノニ就テ調査セリ。  
 (ロ)葉、莖、花等ニ就テハ大正十五以降ノ調査ニヨル、但シ開花期ニ就テハ昭和三年ノ調査ナリ。  
 (ハ)十莢重量、反當收量ハ前表品種試験成績ヲ再録シタリ。

摘要 露地ニ於ケル菜豆ノ播種期ハ降霜ノ虞レナキ四月上、中旬以降タルヲ要ス、然シテ四月中旬播種セシモノハ、五月下旬乃至六月上旬開花シ初メ六月中旬採收期ニ入り以テ七月上、中旬ニ及ブモノナリ、田ノ裏作トシテ栽培ノ場合ハ時恰モ其ノ採收盛期ノ挿扶期ニ際會スルヲ以テ春季霜降ノ虞レナキ時期ニ到レバ可成的早蒔ヲ行フト共ニ特ニ品種ノ選擇ニ注意シ栽培容易豊産ナル、早生種ヲ供用スルコト肝要ナリ。

以上ノ成績ニヨリ適良ト認ムベキ品種ハ左ノ如シ。  
 ナチスフアクシオン、エパーグリーン、プリンスノア、スーパータイプ、エキストラアーリージーン、ロングフエロー  
 アーリージャイアント、長鶉、御厨。

昭和四年十月二十日印刷  
 昭和四年十月廿五日發行

### 京都府立農事試験場

(京都市左京區下鴨半木町)  
 電話 上七九四番

京都市三哲通大宮東入

印刷者 三好徳之助

京都市三哲通大宮東入

印刷所 三秀舎印刷所

電話 四七四二番



88  
451



終